Canon

PUB. DIJ-233

DC40

使用説明書

お使いになるまえに

このたびは、キヤノンDVDビデオカメラDC40をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。読み終わったあとも、大切に保管してください。

DVDビデオカメラを楽しもう！

撮影したシーンはディスクの空いているところに記録されるので、大切な画像を誤って消してしまうことがありません。
一瞬を逃さずディスクに収めます（📖35）。

重ね撮りの心配がありません！

撮る

見る

インデックス画面からすぐ再生！

見たいシーンをすばやく探せます（📖41）。
ファイナライズ※1すると、DVDビデオ機器でそのまま見られます。

楽しむ

動画をパソコンで編集！

付属のRoxio MyDVD for Canonを使って、簡単に自分だけの動画アルバムを作れます[*2]（□125）。

[*1] ディスクをDVDビデオ機器で見るためにファイナライズ処理を行います（□5, 117）。

[*2] Windows2000／Me／XP対応。

ディスクを選ぼう！

DVDには12cmと8cmのディスクがあります。本機では、8cmのDVD-R（付属や市販）またはDVD-RW（市販）が使えます。

まずディスクを選ぼう！

DVD-R

・一度だけ書き込める。
・画像は消せない。

DVD-RW

・繰り返し書き込める。
・画像を消したり、初期化して撮り直せる。

記録方式はどっち？

VIDEOモード

・ファイナライズするとほとんどのDVD機器で再生できる。

VR*モード

・撮影したシーンの編集を本機で楽しめる。
・DVD-RW（VRモード）対応のDVD機器で再生。

＊ Video Recording（ビデオ レコーディング）の略。

・他機で記録、初期化やファイナライズを行ったディスクを本機で記録、再生などの操作をすると、記録データが破損する恐れがあります。

・市販のDVD-RWを本機で使用する際は、はじめに初期化が必要です。

選んだディスクで何ができるの？

ディスクの種類と記録方式によって、できることが異なります。

ディスクの種類	DVD-R	DVD-RW		📖
	VIDEOモード	VIDEOモード	VRモード	
本機で画像を編集（消去・分割・プレイリストに追加・移動）する	-	-	○	97 98 100 103
記録した直後に画像を消去する	-	○	○	101 109
ディスクを初期化して繰り返し使用する	-	○	○	105
ディスクに名前をつける	○	○	○	107
ファイナライズして、DVDビデオ機器で見る	○	○	○	117
ファイナライズ後に追加記録する	-	○*	○	120
静止画をコピーする	○	○	○	110
静止画をつなげてフォトムービーにする	○	○	○	112
パソコンで画像を編集する	○	○	○	125

＊ ファイナライズ解除が必要。

推奨ディスク
本機は付属のディスクおよび日立マクセル製HGタイプのディスクで動作検証しています。上記以外のディスクは動作検証をしておりませんので、互換性などのディスクに関する情報は各ディスクメーカーにお問い合わせください。

DC40で どんなことができるの？

かわいい表情をキレイに撮りたい

美肌モードで撮る（📖71）

暗いところで明るく撮影したい

ナイトモードで撮る（📖51）

海外旅行の思い出を残したい

海外で撮る（📖170）

本機で並べ替えなどの編集をしたい

DVD-RW（VRモード）のとき
プレイリストの編集をする（📖97）

もくじ

はじめに

1 準備しよう

2 かんたん！

3 ステップアップ！

4 編集する

5 DVDプレーヤーなどで見る

6 テレビやビデオにつなぐ

7 パソコンにつなぐ

8 印刷する

9 困ったときに

10 守ってほしいこと

11 お知らせ

本書の読みかた

本書の記載

：守っていただきたいこと

：知っておいていただきたいこと

（📖 ○○）：参照ページ
「画面」：液晶画面またはファインダーの画面
「カード」：miniSDカード
「画像」：静止画と動画
「選ぶ」：十字ボタンを▲/▼/◀/▶（上/下/左/右）側に押して、項目を選ぶこと
「SETを押す」：十字ボタンをまっすぐ押すこと
・作例写真は、スチルカメラで撮影したものを使用しています。

画面の表示
操作するボタンやスイッチ

電源スイッチ

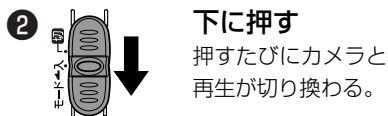
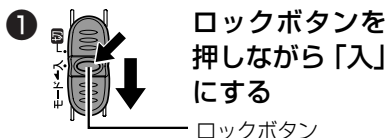
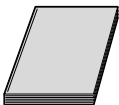
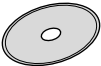
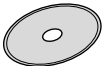
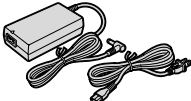
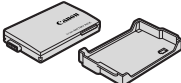
電源スイッチで、カメラモードと再生モードを切り換えます。

❶

ロックボタンを押しながら「入」にする

ロックボタン

❷

下に押す
押すたびにカメラと再生が切り換わる。

動作モード

動作モードは、電源スイッチと動画/静止画切り換えスイッチで切り換えます。

動作モード	電源スイッチ	動画/静止画切り換えスイッチ	画面の表示	主な動作内容	📖
カメラ・🎥	カメラ	🎥		ディスクに動画を撮影します。	35
再生・🎥	再生			ディスクの動画を再生します。	41
カメラ・📷	カメラ	📷	/	ディスクまたはカードに静止画を記録します。	37
再生・📷	再生		/	ディスクまたはカードの静止画を再生します。	43

付属品をお確かめください

DC40 使用説明書	Canon DIGITAL VIDEO SOLUTION DISK ～カードの画像で創る・遊ぶ～	DIGITAL VIDEO SOLUTION DISK (CD-ROM) ：DIGITAL VIDEO SOFTWAREの使用説明書がPDFで入っています	Roxio MyDVD for Canon (CD-ROM)
コンパクトパワーアダプター CA-570 電源コード	バッテリーパック（バッテリー） BP-208（2個）	リモコン(ワイヤレスコントローラー) WL-D86	コイン型リチウム電池CR2025（リモコン用）
マルチケーブル MTC-100	USBケーブル IFC-300PCU	DVD-R ディスク (8cm)	

必ずお読みください

ためし撮り
必ず事前にためし撮りをして、正常に録画・録音されていることを確認してください。万一、ビデオカメラが正常に動作しない場合、「故障かな？」（📖 150）をご確認ください。

記録内容の補償はできません
万一、ビデオカメラやディスク、カードなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について
あなたがビデオカメラで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

録画モードについて
高画質（XP)、標準（SP)、長時間（LP）の中から録画モードを選びます。
長時間モードでは、ディスクの特性や使用環境に影響され、再生時画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影には高画質／標準モードをお使いください。
記録可能時間は、撮影状況によって、画面に出るディスク空き容量とは異なる場合があります。

液晶画面やファインダーについて
液晶画面やファインダーは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は、記録されません。

商標について
・ miniSD™は、SDカードアソシエーションの商標です。
・ Macintosh, Mac OSは、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
・ Windows®は、米国Microsoft社の米国および他の国における登録商標です。
・ DVD R/RW は、DVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標です。
・ ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
・ DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会（JEITA）の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
・ その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ず「安全上のご注意」をよくお読みください。

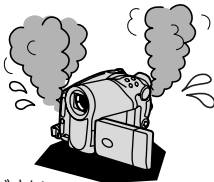
⚠警告　火災、感電、破裂などにより、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

⚠注意　人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容

万が一のとき

⚠警告

● ・煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常が発生したとき
・落としたり、外装を破損したとき
・内部に水、海水などの液体や異物が入ったとき

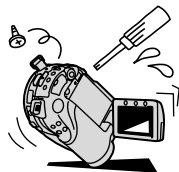
上記の場合は、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーもはずす。
火災、感電の原因。キヤノンサービスセンターまたはご購入になった販売店に修理を依頼してください。

● **雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない。**
感電の原因。

● **バッテリーから液もれしていたら使わない。**
皮膚の障害、失明、発火の原因。
・液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
・万一目などに入ったときは、きれいな水でよく洗った後、ただちに医師に相談してください。

機器を取り扱うとき

警告

● **分解、改造しない。**
発熱、火災、感電、けがの原因。

● **強い振動や衝撃を与えない。**
破損により、火災、やけど、けがの原因。
特に、液晶画面やレンズは、強い衝撃を与えて、割れるとけがの原因。

● **指定された機器を使用する。**
火災、感電、けがの原因。

警告

● **機器の内部や端子部に金属類を入れたり、ショートさせない。また、ディスクの挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込まない。**
火災、感電、けがの原因。

● **ぬらさない。**
火災、感電、やけどの原因。雨天、降雪中、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は、特に注意してください。

● **絶対に、バッテリー、コイン型リチウム電池などを、加熱や火中投入しない。**
破裂により、やけど、けがの原因。

● **電源コードを傷つけない。**
・**加工しない。**
・**無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない。**
・**熱器具に近づけたり、加熱したりしない。**
・**電源コードを抜くときは必ずプラグを持って抜く。**
電源コードが傷つくと（芯線の露出、断線等）、火災、感電の原因。

● **電源プラグは根元まで確実に差し込む。**
火災、感電の原因。

● **充電中は長時間触れない。**
低温やけどの原因。

● **海外旅行者用の電子式変圧器や航空機、船舶、DC／ACコンバーターなどの電源につながない。また、表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。**
火災、感電、けがの原因。

● **回転中のディスクには手を触れない。**
けがの原因。

注意

● **飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従う。**
機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。

● **ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。**
感電の原因。

● **コイン型リチウム電池を金属のピンセットなどでつかまない。**
発熱により、やけどの原因。

安全上のご注意－つづき

● **コード類は、つまづかないように配置する。**
足を引っ掛けて、転倒したり製品が落ちたりして、けがの原因。

強制

● **バッテリー、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは確実に取り付ける。**
脱落すると、けがの原因。

● **バッテリーやテレコンバーター、ワイドコンバーターなどを取りはずすときは、落ちないように手をそえる。**
落ちると、けがの原因。

使用・保管するとき

● **風呂場などの湿度の高い所や油煙、ほこり、砂などの多い場所で使用、保管しない。**
内部に水などが入ると、火災、感電、やけどの原因。

● **直射日光下やストーブ、照明器具のそばなど、60℃以上の高温の場所や炎天下の密閉された車の中に置かない。**
発熱や破裂により、火災、やけど、けがの原因。

禁止

● **不安定な場所に置かない。**
落ちたり、倒れたりして、けがの原因。

● **電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。**
火災の原因。

禁止

● **バッテリーの端子部に金属製のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。**
「＋」と「－」の端子がショートされ、高熱や液漏れにより、やけど、けがの原因。

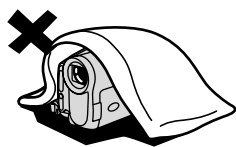
● **ひび割れ、変形や補修したディスク、特殊形状のディスクは使わない。**
けがの原因。

⚠注意

● **ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。**
内部に熱がこもり、火災の原因。

● **使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。**
火災の原因。

撮るとき

⚠警告

● **運転中に使用しない。**
交通事故の原因。

● **撮影しているときは、周囲の状況に注意する。**
けが、交通事故の原因。

お子様がそばにいるとき

⚠警告

● **コイン型リチウム電池をお子様の手の届かないところへ置く。**
万一、飲み込んだ場合、電池の金属ケースが壊れて、電池の液で胃、腸が損傷する恐れがありますので、ただちに医師と相談してください。

● **乳幼児の手の届かないところに置く。**
感電、けがの原因。

⚠注意

● **ディスクカバーを閉めるときに、指をはさまれないようにする。**
けがの原因。

フラッシュ・ミニビデオライトを使うとき

⚠注意

● **フラッシュを人の目に近づけて発光しない。**
目を痛める原因。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。

● **車の運転者に向けてフラッシュやミニビデオライトを使用しない。**
事故の原因。

禁止

● **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない。**
やけどの原因。

各部のなまえ

(　)内の数字は参照ページです。

左面

D.エフェクトボタン (79)/
▶/❚❚(再生/一時停止)ボタン (41)

録画チェック⊡ボタン (36)/
ϟ (フラッシュ)ボタン (62)/
◀◀(早戻し)ボタン (42)/
インデックス画面━ボタン (41)

ライトボタン (61)/
■(停止)ボタン (41)

ドライブモードボタン (73)/
▶▶(早送り)ボタン (42)/
インデックス画面✚ボタン (41)

モードダイヤル (49)

FINALIZE
(ファイナライズ)ボタン
(118)

カードカバー (31)

十字ボタン
(41, 65, 89)/
露出ボタン(57)/
フォーカスボタン(58)

バッテリー
取り付け部 (23)

RESETボタン (150)

バッテリー取りはずし
スイッチ (23)

シリアル番号(機番)

正面

後面

ファインダー (26)
カード動作ランプ(37)/
充電ランプ (23)
FUNC.(ファンクション)ボタン (65)
メニューボタン (89)
(イージーダイレクト)
ボタン (128, 135)
液晶画面(LCD) (28)
ディスプレイボタン (48)
バックライトボタン (28)
ワイドTVボタン (40)/
プレイリストボタン (98)
動画/静止画切り換え
スイッチ (35, 37)
視度調整レバー(26)
映像/音声出力端子
(121, 123)
AV OUT
カメラモードランプ
再生モードランプ
ディスク動作ランプ
(35)
スタート/ストップ
ボタン (35)
電源スイッチ(11, 31)
USB端子 (126, 139)

各部のなまえーつづき

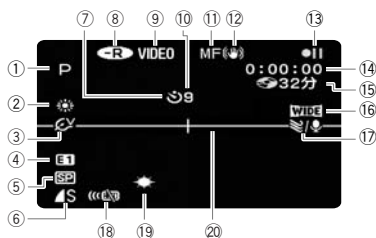
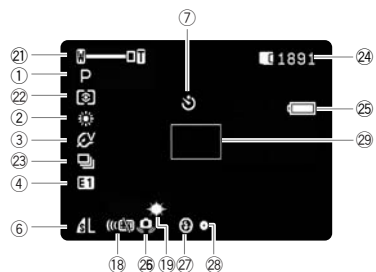
上面

底面

画面の表示

（　）内の数字は参照ページです。

撮る

動画（カメラ/'🎥）

静止画（カメラ/📷）

① 撮影モード (49)
② ホワイトバランス (69)
③ 画質効果 (71)
④ デジタルエフェクト (77)
⑤ 録画モード (67)
⑥ 静止画／画質サイズ (86)
⑦ セルフタイマー (64)
⑧ ディスクの種類 (4)
⑨ 記録方式 (4)
⑩ お知らせタイマー
⑪ マニュアルフォーカス (58)
⑫ 手ぶれ補正 (91)
⑬ 撮影状況 (35)
⑭ 撮影時間 (時：分：秒)
⑮ ディスク空き容量
⑯ ワイドTV (40)
⑰ ウィンドカット (92)
⑱ リモコンセンサー (95)
⑲ ミニビデオライト (61)
⑳ 水平マーカー (94)
㉑ ズーム (39)、露出 o—|—o (57)
㉒ 測光 (68)
㉓ ドライブモード (73)
㉔ 静止画の記録可能枚数 (86)
㉕ バッテリー残量 (22)
㉖ 手ぶれ警告 (91)
㉗ フラッシュ (62)
㉘ 静止画記録でのピント、露出調整 (37)
㉙ AF枠 (60)

■ディスク空き容量

撮影中にディスクの容量がなくなると「💿 END」が点灯し、停止。

■お知らせタイマー

・撮影を始めてから約10秒間、撮影時間を表示。

・一つの場面が短いと、落ち着きのない画面になります。お知らせタイマーを見ながら撮影すると便利です。

■バッテリー残量の目安

・「」が赤く点滅したら、充電したバッテリーと交換する。
・消耗したバッテリーを装着すると、電源が入らなかったり、「」が出ずに電源が切れたりすることがある。
・実際の残量と表示内容は、本機やバッテリーの状態により必ずしも一致しない。

■ディスク撮影／再生状況

●：撮影（録画）、●II：撮影一時停止、▶：再生、II：再生一時停止、▶▶：早送り、◀◀：早戻し、◀II／II▶：コマ送り、◀I／I▶：スロー再生

■カード静止画の記録可能枚数

6 緑色表示：6枚以上　5 黄色表示：1～5枚　0 赤色表示：0枚
・カード再生時はすべて緑色。
・記録可能枚数は、記録時の状況により異なる場合がある。記録しても枚数表示が減らなかったり、一回の記録で2枚減ることもある。

■書き込み表示

カードやディスクに静止画を書き込んでいるときに、「▶」が出る。

見る

動画（再生/）

① 撮影シーン数
② 撮影日時

① 再生状況
② 再生時間 (時：分：秒)
③ 再生シーン番号
④ データコード (48)

静止画（再生/）

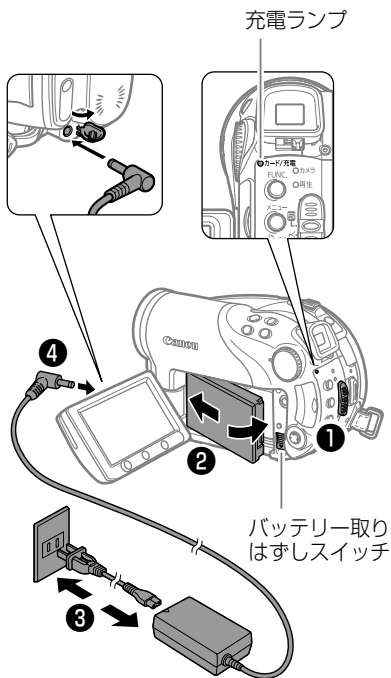
① 画像番号 (95)
② 表示番号／全枚数
③ 静止画サイズ (86)
④ データコード (48)
⑤ 画像プロテクト (114)

ステップ1　電源を準備する

本機は、バッテリー、または家庭用コンセントにつないで使用します。バッテリーは、充電してから使用します。

バッテリーを充電する

準備　バッテリーから、ショート防止用端子カバーを取りはずす（📖 164）。

❶

❷ バッテリーをカチッとロックされるまで押し付ける

❸ 電源コードをコンパクトパワーアダプター、コンセントの順に差し込む

❹ DC IN端子にコンパクトパワーアダプターを差し込む

充電ランプが点滅し、充電が始まる。充電が終わると、充電ランプが点灯する。

■充電が完了したときは

①コンパクトパワーアダプターを本機から抜く

②電源コードをコンセント、コンパクトパワーアダプターから順に抜く

■バッテリーを取りはずすときは

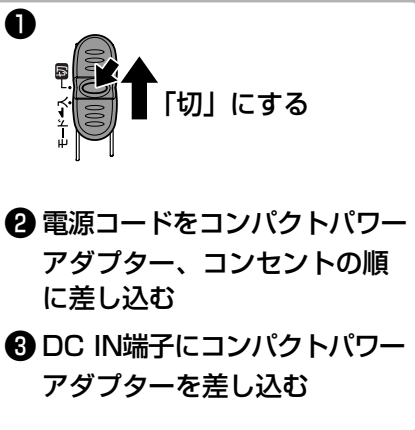
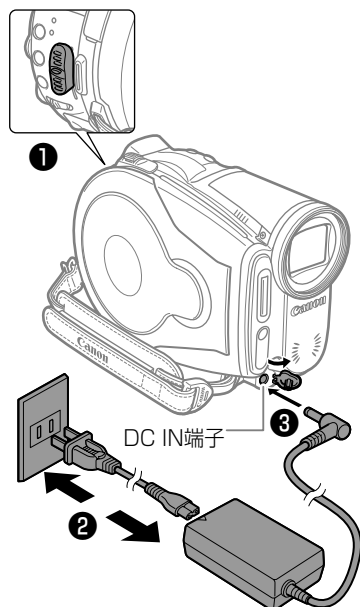
バッテリー取りはずしスイッチを下に押し、バッテリーのツマミに指をかけて持ち上げる

家庭用コンセントにつないで使う

本機を家庭用コンセントにつなぐと、バッテリーの残量を気にせずに使用できます。また、バッテリーは取り付けたまま使用しても、消耗しません。

❶
「切」にする

❷ 電源コードをコンパクトパワーアダプター、コンセントの順に差し込む

❸ DC IN端子にコンパクトパワーアダプターを差し込む

❍ コンパクトパワーアダプターを抜き差しするときは、必ずビデオカメラの電源を切ってください。
❍ コンパクトパワーアダプターを使用中、音がすることがありますが、故障ではありません。
❍ 10℃～30℃の範囲で充電することをおすすめします。0℃未満、40℃以上では、充電できません。

❍付属のバッテリーBP-208をフル充電したときの使用時間は、次のとおりです。バッテリーの充電時間は約155分です。SPモードのときの再生時間は約85分です。

録画モード			連続撮影時間	実撮影時間*
XP	ファインダー使用時		65分	40分
	液晶画面使用時	標準	65分	40分
		明るい	65分	40分
SP	ファインダー使用時		75分	45分
	液晶画面使用時	標準	75分	45分
		明るい	70分	40分
LP	ファインダー使用時		80分	45分
	液晶画面使用時	標準	80分	45分
		明るい	75分	45分

* 実撮影時間は、撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間の目安です。

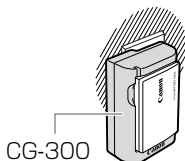
❍コンパクトパワーアダプター、バッテリーに異常があるときは、充電ランプが早い連続した点滅（0.5秒間隔で1回）になり、充電を中止します。

❍ 充電ランプの点灯や点滅が、充電した量の目安を表します。

点灯　：充電完了
点滅（約1秒間隔で2回ずつ）：半分以上
点滅（約1秒間隔で1回ずつ）：半分以下

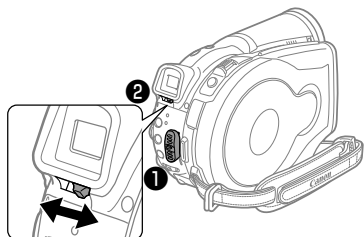
❍ 充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。

❍ 低温下で使用したときには、使用時間は短くなります。

❍ バッテリーは、別売のバッテリーチャージャーCG-300を使って充電できます。詳しくは、バッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。充電時間は、約105分です。

❍ **バッテリーは、予定撮影時間の2〜3倍分をご用意ください。**
ビデオカメラの消費電力は、ズームなどの操作によって変化します。そのためバッテリーの実際の使用時間は、表記の時間より短くなります。

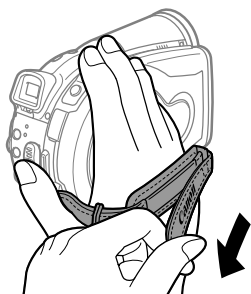
準備

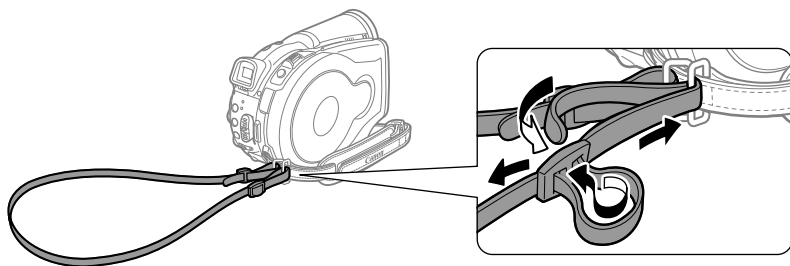
ステップ2　カメラの準備

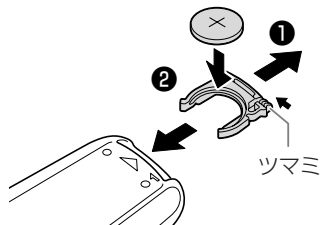
ファインダーを調整する（視度調整）

❶ 電源を入れる

❷ 視度調整レバーをファインダー内の表示がはっきり見えるように調整する

- ファインダーを使用するときは、必ず液晶画面をしっかりと閉じる。

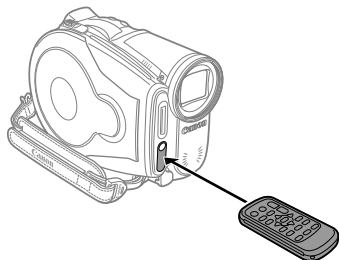
グリップベルトを調整する

親指でスタート/ストップボタン、人差し指でズームレバーが操作できるように、ベルトを調整する。

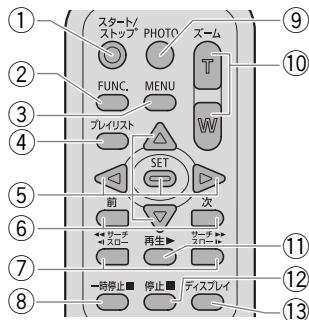
別売のショルダーストラップを取り付ける

ステップ3　リモコンを使う

電池の入れかた（コイン型リチウム電池CR2025）

❶ ツマミを矢印の方向に押しながら、電池入れを引き抜く

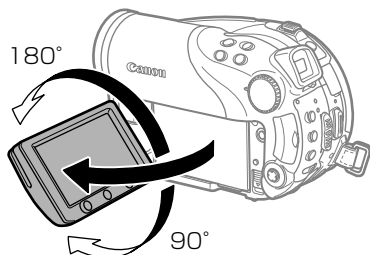
❷ 電池を入れ、電池入れを取り付ける

電池の＋側を上にして、電池入れに入れる。

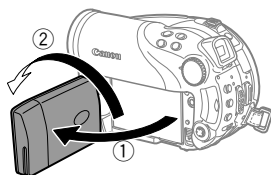
操作のしかた

リモコン受光部に向けて、リモコンのボタンを押す

①スタート/ストップボタン（📖35）
②FUNC.ボタン（📖65）
③MENUボタン（📖89）
④プレイリストボタン（📖98）
⑤十字ボタン（📖41、65、89）
⑥次/前ボタン（📖41）
⑦サーチ/スローボタン（📖42）
⑧一時停止ボタン（📖42）
⑨PHOTOボタン（📖37）
⑩ズームボタン（📖39）
⑪再生ボタン（📖41）
⑫停止ボタン（📖41）
⑬ディスプレイボタン（📖48）

❍ リモコンの受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。
❍ リモコンで操作できないときは、メニューの「システム設定」で「リモコンセンサー」を「入」にしてください（📖95）。
❍ リモコンのボタンを押しても動作しなくなったり、本体に近づかないと動作しなくなったときは、電池を交換してください。

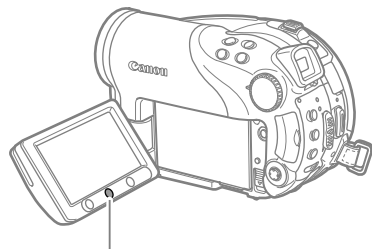
ステップ4　液晶画面を調整する（対面撮影、バックライト）

液晶画面の角度を変える

液晶画面を90°まで開く

- ファインダー側に90°、レンズ側に180°（対面撮影）まで回転。

■対面撮影するとき

液晶画面を相手に見せて、ファインダーを使って撮影する。

液晶画面全体を明るくする（バックライト）

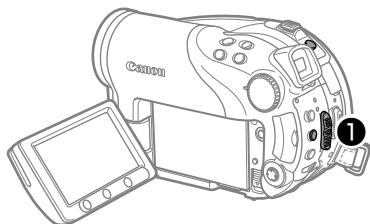
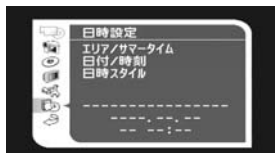
液晶画面の明るさを、「標準」と「明るい」に切り換えられます。屋外での撮影などに便利です。

バックライト　押す

押すたびに、明るさが切り換わる。

❍ ディスクやカードに記録される映像の明るさや、ファインダーの明るさは変わりません。
❍ 液晶画面を明るくしていると、バッテリーの使用時間が短くなります。

ステップ5　日時を設定する

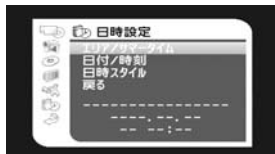
日付／時刻を設定する前に、世界時計のエリアを設定します。

世界時計のエリアを選ぶ

❷

押す

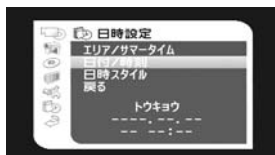
- メニューが出る。

❸ 「日時設定」を選び、(SET)を押す

❹ 「エリア／サマータイム」を選び、(SET)を押す

❺

現在のエリアを選び、(SET)を押す

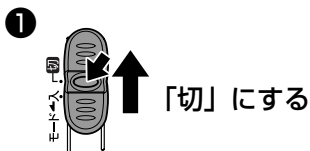
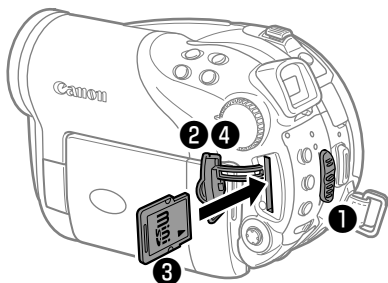
つづく▶

日付／時刻を設定する

- ❍ 本機を3ヶ月近く使わないでおくと、内蔵の充電式リチウム電池が放電して、日付／時刻の設定が解除されることがあります。その場合、内蔵のリチウム電池を充電してから設定し直してください（□ 166）。
- ❍ 日時スタイルを変更できます（□ 96）。

ステップ6　カードを入れる

本機は、miniSD（ミニ）カード専用です。

❶

「切」にする

❷ カバーを開ける

❸ カードをまっすぐ、奥までしっかり入れる

❹ カバーを閉じる

カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉じない。

■カードを出すときは

カードの端を一度押して、カードが出てきたら抜く。

カードを使用するときは、必ず本機で初期化してください（116）。

すべてのカードの動作は保証しておりません。

ステップ7　ディスクを出し入れする

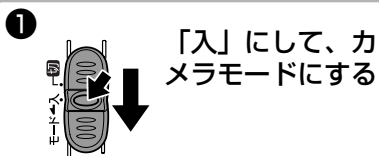
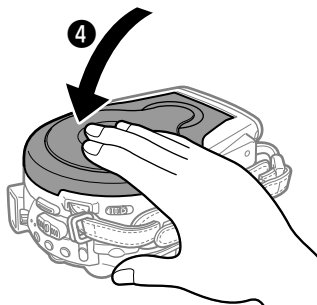
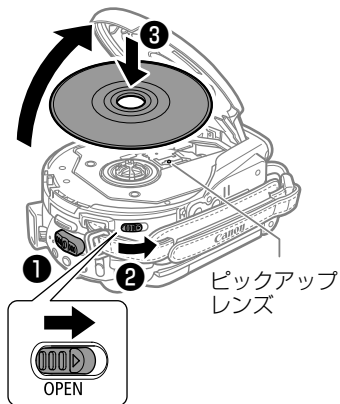
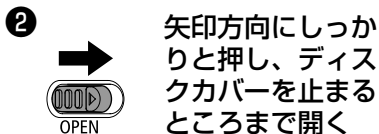
ディスクを入れる

ディスクは DVD R または DVD RW の付いた、8cm DVD-Rまたは8cm DVD-RWをお使いください。

準備	ディスクの記録面に汚れや指紋が付いていないことを必ず確認する。汚れや指紋は、市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭きとっておく。

❶

「入」にして、カメラモードにする

❷

矢印方向にしっかりと押し、ディスクカバーを止まるところまで開く

- グリップベルトは、引っ掛からないように本機の下にずらす。

❸ ディスクの中央を押して、カチッと音がするまではめ込む。

- 片面ディスクの場合は、ラベル面を外側にして入れる
- ディスクの記録面やピックアップレンズには触れない。

❹ 閉じる

ディスクが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉じない。

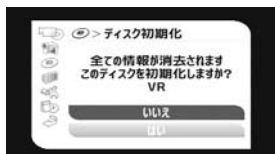
■DVD-Rのとき（付属または市販）

❺ ●❚❚（撮影一時停止中）が出たら、そのまま撮影を始められます（📖35）。

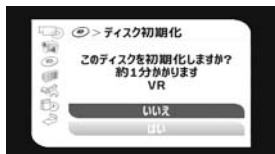
■DVD-RWのとき（市販）

新しいディスクで撮るときは、まずディスクを初期化します。自動的に、記録方式を選ぶ画面が出ます。2回目以降は、この操作は必要ありません。

「VIDEO」または「VR」を選び、(SET)を押す

- 記録方式については、「ディスクを選ぼう！」（📖4）をご覧ください。

「はい」を選び、(SET)を押す

「はい」を選び、(SET)を押す

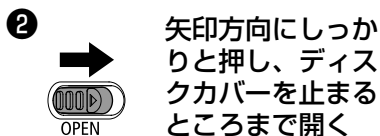
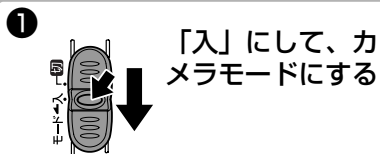
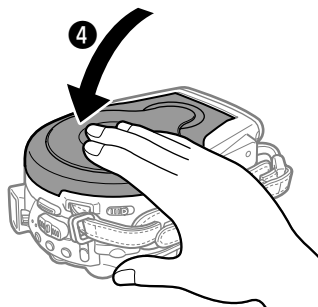
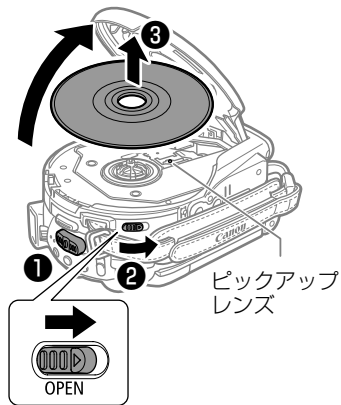
- ディスク初期化が始まる。
- ●❚❚（撮影一時停止中）が出たら、撮影準備完了。

❍ ディスク認識中に何か操作を行うと、ディスク初期化画面が自動的に出ない場合があります。メニューからディスクを初期化してください（📖105）。

❍ ディスクを入れた後、ディスクの読み込みに多少時間がかかります。読み込み中は、ディスク読み込みマーク（💿）が出ます。動画再生中は、「ディスク認識中です」が出ます。読み込みが終わってから、操作を行ってください。

ディスクを取り出す

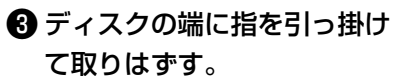
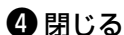
❶
「入」にして、カメラモードにする

❷

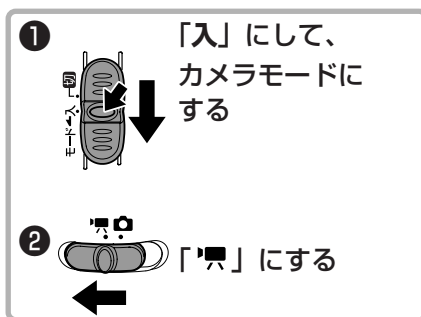
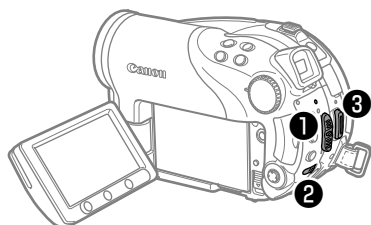
矢印方向にしっかりと押し、ディスクカバーを止まるところまで開く

- ディスク動作ランプが点灯している間は、衝撃を与えない。
- グリップベルトは、引っ掛からないように本機の下にずらす。
- OPENスイッチを押した後、開くまで時間がかかることがある。

❸ **ディスクの端に指を引っ掛けて取りはずす。**

- ディスクの記録面やピックアップレンズには触れない。

❹ 閉じる

記録後にOPENスイッチを押したとき、重要なデータの書き込みが行われます。ディスク動作ランプが点灯している間は、机に置くなどの振動や衝撃を与えないでください。

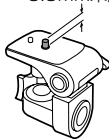
動画（シーン）を撮影する

撮影する前に
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。DVD-Rの場合は画像を消去できないため、市販のDVD-RWでためし撮りすることをおすすめします。

押す

- 撮影（録画）が始まる。
- もう一度押すと、撮影一時停止になる。
- 撮影中や、撮影一時停止にした直後はディスク動作ランプが点灯。

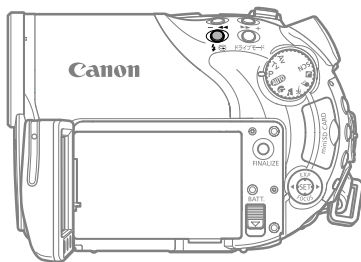
■撮影が終わったら
①ディスクを取り出す
②電源スイッチを「切」にする
③バッテリーを取りはずす
④液晶画面を垂直にしてから、カチッと音がするまでしっかりと閉じる

ディスク動作ランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。ディスクのデータを破損する恐れがあります。
- 本機に振動や衝撃を与えない。
- ディスクカバーを開けたり、ディスクを出したりしない。
- 電源を切らない。電源スイッチや動画/静止画切り換えスイッチを切り換えない。
- バッテリーなどの電源を取りはずさない。

- ❍ 録画時間については「録画モード」（📖 67）をご覧ください。
- ❍ 周囲が明るくて液晶画面が見にくい場合は、ファインダーをお使いください。
- ❍ 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、音が歪んだり、実際より小さく記録されることがあります。これは故障ではありません。
- ❍ **バッテリーを使用時は、約5分間何も操作をしないと、省電のために電源が切れます（📖 95）。その場合は電源スイッチをしっかりと下にずらし、電源を入れてください。または、電源を一度切ってから入れ直してください。**
- ❍ **三脚を使うとき**
  - ・ファインダーを太陽に向けないでください。
  - ・三脚は、必ず取り付けネジの長さが5.5mm未満のものをご使用ください。本体を破損することがあります。

ディスクに撮影したシーンを確認する（録画チェック）

最後に撮影したシーンを確認します（録画チェック）。

録画チェック

押す

- 撮影した最後のシーンが再生され、撮影一時停止に戻る。
- 記録直後に録画チェックしたときは、シーンの消去も行える（📖 101）。

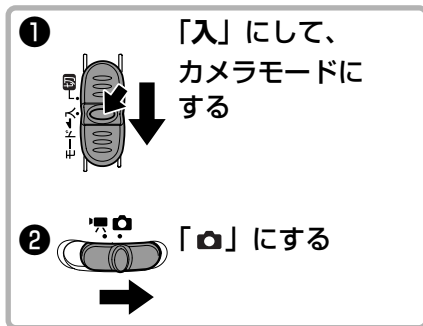
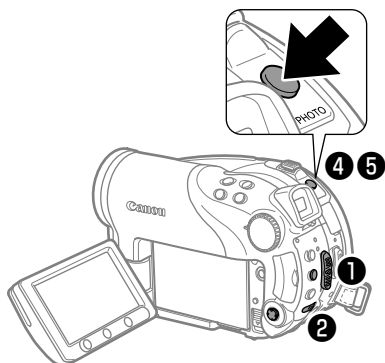
■録画チェックを中止するとき

録画チェック中に、十字ボタンで「↩」を選び、SET を押す。

静止画を記録する

カードに静止画を記録する場合は、はじめにカードを初期化してください（🕮 116）。

❶ 「入」にして、カメラモードにする

❷ 「📷」にする

❸ 記録する静止画のメディアを選ぶ（🕮 38）

❹ PHOTO **浅く押し続ける**

- ピント調整が終わると、●が緑色になり、緑色のAF枠が出る。
- リモコンのPHOTOボタンを押したときは、すぐに静止画記録が始まる。

❺ PHOTO **深く押す**

- カード動作ランプ、またはディスク動作ランプが点滅。
- 記録が始まる。

静止画のメディアを選ぶ

押す

「システム設定」➤「静止画メディア選択」を選び、SET を押す

「カード」または「ディスク」を選び、SET を押す

押す

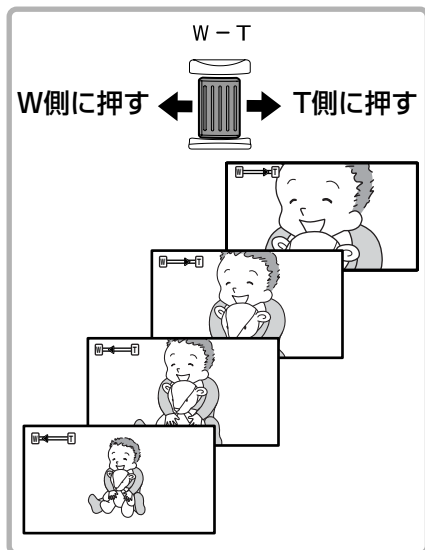
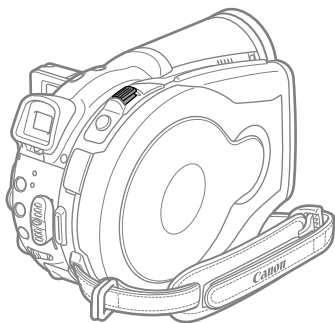
画面右上に▶ や▶ が出ていたり、カード/ディスク動作ランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。カードやディスクのデータを破損する恐れがあります。

・ 本機に振動や衝撃を与えない。
・ カード/ディスクカバーを開けたり、カードやディスクを出したりしない。
・ 電源を切らない。電源スイッチや動画/静止画切り換えスイッチを切り換えない。
・ バッテリーなどの電源を取りはずさない。

❍ 自動でピントが合いにくい被写体の場合は、●が黄色くなります。PHOTOボタンを浅く押したまま、十字ボタンを◀/▶側に押してピントを合わせることをおすすめします。
❍ 被写体が明るすぎて露出過多になると、「露出オーバー」が点滅します。このような場合は、別売のフィルターセットFS-H37UのNDフィルターを取り付けてください。

ズームを使う

ズームレバーを動かして、被写体の大きさを決めます。10倍の光学ズームを使用できます。
カメラ・動画 では、200倍のデジタルズームも使用できます（□ 91）。

カメラ・動画 / カメラ・静止画

❍ ビデオカメラの本体を操作するときのズームスピードは、ズームレバーの押しかたで変わる可変速と、一定のスピード（1～3）をメニュー（□ 90）で選べます。可変速を選ぶと、ズームレバーを少し押すと低速ズームに、さらに押すと高速ズームになります。

❍ リモコンで操作するときのズームスピードは以下のようになります。
- ズームスピード1～3に設定：本機でのズームスピード1～3と同速。
- 可変速に設定：本機でのズームスピード3と同速。

❍ メニューでズームスピードを可変速に設定していると、撮影一時停止中、ズームスピードはより速くなります。

❍ **T**はtelephoto（テレフォト）（望遠）、**W**はwide（ワイド）（広角）の頭文字です。

❍ ズームをしながら撮影するときは、被写体から1m以上離れてください。W側いっぱいに押すと、約1cmまで近づいて撮影できます。

撮影する画面の比率を選ぶ（16：9／4：3）

テレビに合わせて、16：9と4：3を切り換えます。

❶ ワイドTV プレイリスト　押す

● ワイド画面を入／切する。

❍ VIDEOモードで長時間モード（LP）に設定しているときは、ワイド画面で撮影できません。VRモードの場合はワイド画面で撮影できます。

❍ ワイド画面設定時に、メニューで手ぶれ補正を「切」にすると撮影範囲が広くなります。

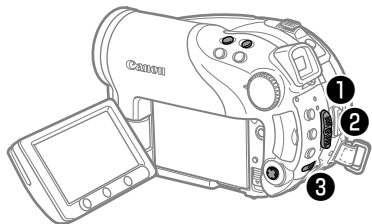
❍ ワイド画面で撮影されたシーンを再生するとき、ビデオＩD-1方式対応のテレビにつなぐと、自動的にワイド画面（16：9）に切り換わります。切り換わらない場合は、テレビ側でワイド画面に切り換えてください。接続するテレビが通常のテレビ（4：3）の場合は、メニューで「テレビタイプ」を設定してください（□ 95）。

動画（シーン）を再生する

❶ 「入」にする

❷ 下に押して再生モードにする

● 緑色の再生モードランプが点灯する。

❸ 「📽」にする

❹ シーンを選ぶ

■インデックス画面を前または次へ切り換えるとき

インデックス画面 ✚ / ━ ボタンまたはリモコンの次/前ボタンを押す。

❺ D.エフェクト ►/❚❚ 押す

● 選んだシーンから最後のシーンまで再生できる。

❻ ライト ■ 押す

❍ 液晶画面を閉じると、ファインダーで再生画面を見ることができます。

❍ **再生中の画面表示について**

撮影した時間は、「時：分：秒」で出ます。

❍ 再生中、撮影した日時やカメラデータも表示できます（🕮 48）。

❍ 電源を切らなければ、再度同じ場所から再生できます。

いろいろな再生

早送り再生 ▶▶	**再生中** 本体の▶▶（早送り）ボタン・リモコンの▶▶（サーチ）ボタンを押す：約1.5倍、約5倍、約15倍、約25倍に切り換わる。
早戻し再生 ◀◀	**再生中** 本体の◀◀（早戻し）ボタン・リモコンの◀◀（サーチ）ボタンを押す：約2.5倍、約5倍、約15倍、約25倍に切り換わる。
再生一時停止 ❚❚	**再生中** 本体の▶/❚❚（再生／一時停止）ボタン、リモコンの❚❚（一時停止）ボタンを押す。
スロー再生 ◀❙ ❙▶	**再生一時停止中** 本体の▶▶（早送り）ボタン・リモコンの❙▶（スロー）ボタンまたは本体の◀◀（早戻し）ボタン・リモコンの◀❙（スロー）ボタンを押す。 ：約1/16倍、約1/8倍、約1/4倍、約1/2倍のスロー再生／逆スロー再生に切り換わる。
スキップ再生	**再生中** 十字ボタンを▶に押す／リモコンの次ボタンを1回押す ：次のシーンの先頭から再生。 十字ボタンを◀に押す／リモコンの前ボタンを1回押す ：再生中のシーンの先頭から再生。 十字ボタンを◀に2回押す／リモコンの前ボタンを2回押す ：前のシーンの先頭から再生。

- ❍ いろいろな再生機能を使って再生したときは、音声は聞こえません。約1.5倍の早送り再生のときのみ、音は出ます。
- ❍ 再生機能によっては、画面がとぶことがあります。
- ❍ VIDEOモード（記録方式）の場合、スロー再生はできません。
- ❍ 撮影条件によっては、シーンの切り替わりで画像が静止したり、音声が途切れたりすることがあります。
- ❍ フォトムービーのとき、早送り／早戻し／スロー再生などはできません。画面に再生状況が出ます。

静止画を再生する(スライドショー、インデックス画面、ジャンプ機能)

❶ 「入」にする

❷ 下に押して再生モードにする

- 緑色の再生モードランプが点灯します。

❸ 「」にする

❹ 再生する静止画のメディアを選ぶ(📖 38)

❺ 静止画を選ぶ

❍ 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
- 本機以外の製品で記録したとき
- パソコンで作成や加工をしたとき（カードミックスの静止画は除く）
- ファイル名を変更したとき

❍ 画面右上に▶ や▶ が出ていたり、カード/ディスク動作ランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。カードやディスクのデータを破損する恐れがあります。
- カード/ディスクカバーを開けたり、カードやディスクを出したりしない。
- 電源を切らない。電源スイッチや動画/静止画切り換えスイッチを切り換えない。
- バッテリーなどの電源を取りはずさない。

順番に再生する（スライドショー）

❶ FUNC.

押す

❷

（スライドショー）を選び、SET を押す

❸

「スタート」を選び、SET を押す

■終了するとき

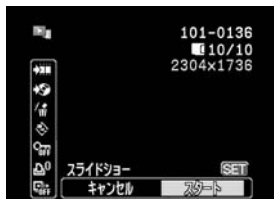
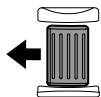
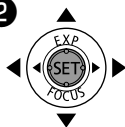
FUNC.ボタンを押す。

インデックス画面から選ぶ

再生・📷

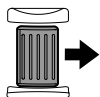
❶ W – T

W側に押す

❷

▲/▼/◀/▶側に押す

- 「☞」を再生したい静止画に合わせる。
- インデックス画面 ✚ / ━ ボタンで画面を切り換える。

❸ W – T

T側に押す

- 選んだ1枚の静止画が画面に出る。

すばやく探し出す（ジャンプ機能）

1枚ずつ再生せずに、離れた静止画まで一気にジャンプできます。

再生・📷

❶

◀/▶側に押し続ける

❷ **ボタンを離す**

- 表示番号の静止画が画面に出る。

かんたん・見る

音量を調整する

液晶画面で再生するときに、同時にスピーカーで音声も聞くことができます。液晶画面を閉じるとスピーカーは切れます。

❶「入」にする

❷下に押して再生モードにする

- 緑色の再生モードランプが点灯する。

❸「'▀」にする

❹ メニュー

押す

❺

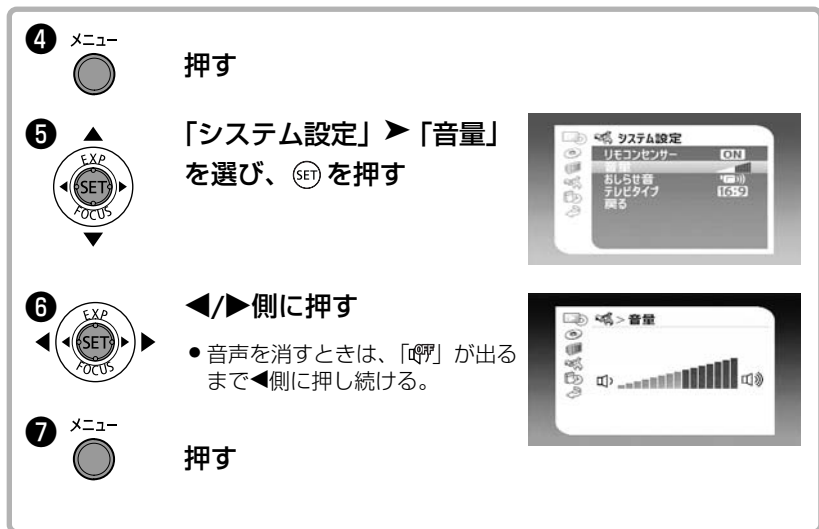
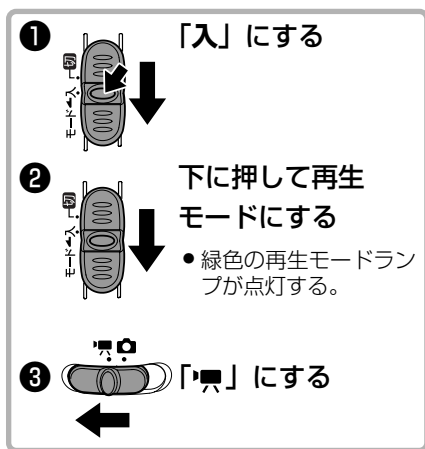
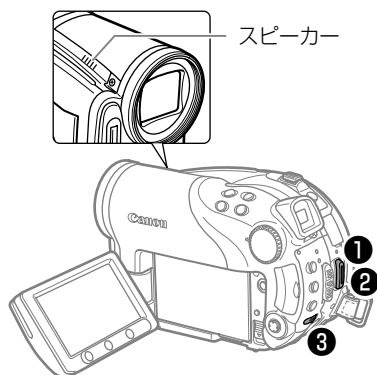
「システム設定」➤「音量」を選び、(SET) を押す

❻

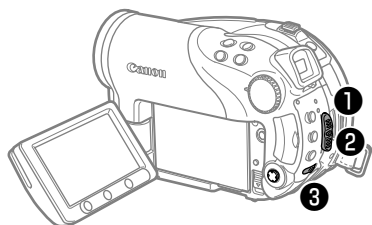
◀/▶側に押す

- 音声を消すときは、「OFF」が出るまで◀側に押し続ける。

❼ メニュー

押す

画面を拡大する（再生ズーム）

静止画を再生中に、画面を5倍まで拡大できます。また、拡大する位置を上下、左右に移動できます。

❸ 「 」にする

❹ W − T

静止画再生中

T側に押す

● 画面中央を拡大。
● 縮小するときは、ズームレバーをW側に押す。
● 拡大できない静止画のときは、「 」が出る。

❺

▲/▼/◀/▶側に押す

画面が移動する

W − T

■画面を元に戻すとき

拡大している枠が消えるまで、ズームレバーをW側に押す。

かんたん
• 見る

撮影情報の表示のしかたを選ぶ(データコード)

本機では、撮影時の日付／時刻とカメラデータ（シャッタースピードと絞り値（F値））が自動的に記録されます。撮影時の日付／時刻、カメラデータを「データコード」といいます。

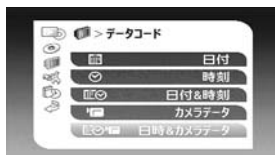
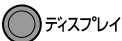
❶ 押す

❷ 「表示設定」➤「データコード」➤ 設定内容を選び、(SET) を押す

● 静止画を再生するときは、日付と時刻のみ選択できる。

❸ 押す

❹ 動画または静止画を再生する

❺ 押す

● ディスプレイボタンを押すたびに次のように切り換わる。

・画面表示とデータコード
・データコードのみ
・画面表示なし

撮影場面や目的に合わせて撮る（撮影モード）

撮影したい場面に合わせて、撮影モードを選びます。

AUTO オート

すべての調整をカメラまかせで、簡単に撮影。

P プログラムAE

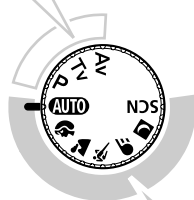
（📖 53）

Tv シャッタースピード優先AE （📖 54）

Av 絞り優先AE

（📖 56）

応用撮影

思いどおりのさまざまな撮影ができる。

簡単撮影

被写体に合う条件をカメラまかせで撮影。

ポートレート

背景をぼかして、被写体を引き立たせて撮るとき。

風景

広がりのある風景を撮るとき。

SCN スペシャルシーン

シーンによって6つの撮影モードが選べる（📖 52）。

スポーツ

テニスやゴルフなど、動きの速い被写体を撮るとき。

スローシャッター

動いている被写体をぶれさせたり（残像効果）、川の流れなどを撮影するとき。

ナイト

暗い場所で撮るとき。2つの撮影モードが選べる（📖 51）。

撮影モードの選びかた

カメラ・🎥 / 💿□ カメラ・📷

1 モードダイヤルを回す

● 選んだモードの表示が出る。

❍ 撮影中は、撮影モードを変えないでください。映像の明るさが一時的に大きく変化することがあります。

❍ ポートレート
 ・ ズームを望遠（T）側にすると、背景がより効果的にぼけます。
 ・ 再生すると、なめらかに見えないことがあります。

❍ 風景
ズームを広角（W）側にすると、より効果的に撮影できます。

❍ スポーツ
再生すると、なめらかに見えないことがあります。

❍ スローシャッター
 ・カメラモードでは、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
 ・自動でピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください。

ナイトモードを使う

ナイト
少し暗めな場所で、被写体を明るく撮影。

スーパーナイト
真っ暗な場所で、周囲の明るさによってミニビデオライトが自動的に点灯し、明るく撮影。

カメラ・ / カメラ・

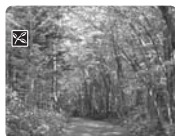
を選ぶ

2

① SET を押す
②ナイトモードを選び、SET を押す

- ❍ 動きのある被写体は、尾を引いたような残像になることがあります。
- ❍ 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- ❍ 画面に白い点などが出ることがあります。
- ❍ 自動でピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください。

SCN スペシャルシーンモードを使う

新緑/紅葉
新緑や紅葉、桜などをきれいに撮影。

スノー
冬のスキー場で照り返しが強くても被写体が暗くなるのを防ぎ、鮮明に撮影。

ビーチ
夏の海岸で照り返しが強くても被写体が暗くなるのを防ぎ、鮮明に撮影。

夕焼け
夕焼けを色鮮やかに撮影。

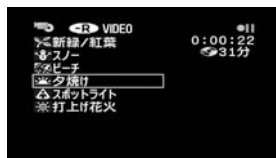
スポットライト
スポットライトで照明されたシーンをきれいに撮影。

打上げ花火
打上げ花火をきれいに撮影。

カメラ・ / カメラ・

1

SCNを選ぶ

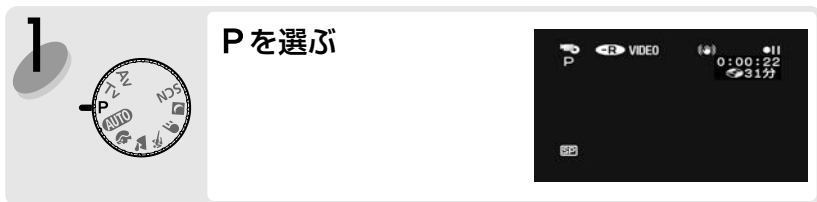
① SET を押す
②シーンモードを選び、SET を押す

❍ スノー／ビーチ
・曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎることがあります。画面で映像をご確認ください。
・再生すると、なめらかに見えないことがあります。

❍ 打上げ花火
手ぶれを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。
カメラ・ では、シャッタースピードが遅くなるため、必ず三脚をお使いください。

P プログラムAEで撮る

被写体に応じて適正な明るさに設定するために、カメラが自動的にシャッタースピードと絞り数値を設定します（プログラム）。その他の項目は手動で調整できます。

1

P を選ぶ

❍ AEは、Auto Exposure（オート エクスポージャー）の略で、自動露出のことです。

❍ 適正な明るさを得られないときは、次の操作をしてください。

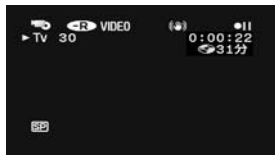
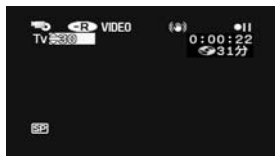
- 手動で明るさを変える（📖 57）。
- 明るさの調整のしかたを選ぶ（📖 68）。
- フラッシュを使う（📖 62）。
- ミニビデオライトを使う（📖 61）。

Tv シャッタースピードを決めて撮る(シャッター優先AE)

シャッタースピードを速くすると、動きの速い被写体を瞬間でとらえることができます。シャッタースピードを遅くすると、水の流れなどの流動感を表現できます。
被写体に応じて適正な明るさに設定するために必要な絞り数値は、カメラが自動的に設定します。
シャッタースピードを選ぶときの目安は、以下のとおりです。

カメラ/	カメラ/	
1/8、1/15、1/30秒	1/2、1/4、1/8、1/15、1/30秒	少し暗い場所で、被写体を明るく撮影するとき。
1/60秒	1/60秒	一般的な撮影のとき。
1/100秒	1/100秒	屋内でスポーツをしている人を撮影するとき。
1/250、1/500、1/1000秒	1/250、1/500、1/720秒	自動車や列車などから外を撮影するときや、ジェットコースターなどの動きの速い乗り物を撮影するとき。
1/2000秒	−	晴天下で、テニスやゴルフなどのスポーツをしている人を撮影するとき。

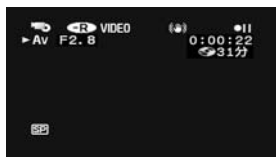
カメラ・ / カメラ・

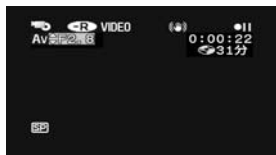
Tv を選ぶ

① SET を押す
②数値を選び、SET を押す

- ❍ Tvは、Time value（タイム バリュー）の略で、時間量のことです。
- ❍ 数値が点滅するときは、適正な明るさになっていません。数値が点滅しなくなるまで、シャッタースピードを調整してください。
- ❍ 暗いところでスローシャッターを使うと明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化したり、ピントが自動では合いにくいことがあります。
- ❍ 1/1000秒以上の高速シャッターでは、画面内に太陽を入れないでください。
- ❍ 高速シャッターでは、画像がちらついて、なめらかに見えないことがあります。
- ❍ 蛍光灯下で動画を撮影する場合は、モードダイヤルが AUTO 、P 、または 🌙 のときは、蛍光灯のちらつきを検出して自動的にシャッタースピードが切り換わります。画面のちらつきがとれないときは、Tv を選び、1/100秒を選んでください。

Av 絞り数値を決めて撮る（絞り優先AE）

絞り数値を小さくする（開く）と、背景をぼかした美しいポートレートが撮影できます。絞り数値を大きくする（閉じる）と、奥行きのある風景の手前から遠くまで鮮明に撮影できます。
被写体に応じて適正な明るさに設定するために必要なシャッタースピードは、カメラが自動的に設定します。
絞り数値：1.8、2.0、2.4、2.8、3.4、4.0、4.8、5.6、6.7、8.0

カメラ・ / カメラ・

Avを選ぶ

① SET を押す
②数値を選び、SET を押す

● 数値が大きくなるほど、レンズの絞り径は小さくなる。

❍ Avは、Aperture value（アパチャー バリュー）の略で、開口量のことです。
❍ 設定できる数値は、ズームの位置によって変わります。
❍ 数値が点滅するときは、適正な明るさになっていません。数値が点滅しなくなるまで、絞り数値を調整してください。

手動で明るさを変える（露出ロック／露出補正）

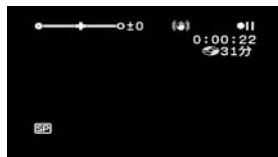
被写体が太陽を背にしていたりする逆光の状態では、被写体が黒くつぶれてしまうことがあります。逆に、あまり強い光を被写体が受けると、白くとんでしまいます。このようなときには、露出の調整をします。

明るさを固定する（露出ロック）

1 AUTO 以外にする

● 打上げ花火（SCN）を設定しているときは、使用できない。

2 露出ボタンを押す

● 露出ロック中にズームを操作すると、画面の明るさが変わることがある。

明るさを補正する

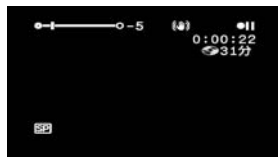
1

露出ロック中

◀/▶側に押す

● 明るさによって調整できる範囲が変わり、露出ロック表示の長さも変わる。

● 露出ボタンをもう一度押すと、自動露出補正に戻る。

ステップアップ・撮る

手動でピントを合わせる

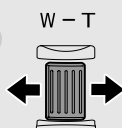
自動でピントが合いにくい場合は、手動でピントを合わせます（マニュアルフォーカス）。自動ではピントが合いにくい被写体は、次のとおりです。

・輝いたり、強い光が反射している
・明暗の差や縦の線がない
・動きが速い
・水滴や汚れの付いたガラス越し
・夜景

カメラ・[動画] / カメラ・[静止画]

1

AUTO 以外にする

2

被写体の大きさを決める

フォーカスボタンを押す

● 「MF」が出る。

◀/▶側に押し続ける

● ピントを合わせる。
● フォーカスボタンをもう一度押すと、自動ピント合わせに戻る。

- モードダイヤルを AUTO にすると、自動ピント合わせになります。ほかの撮影モードにしたときは、手動のままです。
- 電源を切ったときは、ピントを合わせ直してください。

ピントを無限遠にして撮る

ピントを無限遠にすると、遠くの被写体だけにピントを合わせて、近くの被写体にピントが合うのを防ぐことができます。花火や月、山などを撮影するときに使います。

カメラ・ / カメラ・

前ページ操作2の後

フォーカスボタンを2秒以上押し続ける

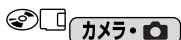
- ピントが無限遠になり、「∞」が出る。
- もう一度フォーカスボタンを押すと、オートフォーカスに戻る。

「∞」が出ているときに、ズームレバーまたは十字ボタンを◀/▶側に押すと、「MF」に変わり、手動ピント合わせになります。

ピントの合わせかたを変える

AF（オートフォーカス）とは、自動でピントを合わせることです。AF枠の選びかたを変えて、撮影できます。

9点AiAF（自動選択）	撮影状況によって、9つのAF枠の中から、自動的にAF枠を選ぶ。
中央1点	9つのAF枠の中の中央にピントを合わせる。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利。
9点枠選択	9つのAF枠の中からピントを合わせたいAF枠を選ぶ。

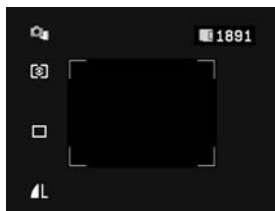
カメラ・

1

撮影モードを選ぶ

- AUTO ：9点AiAFのみ
- 、、、、、SCN * ：9点AiAF、中央1点
- P、Tv、Av ：9点枠選択

* 打上げ花火（SCN）を設定しているときは、使用できない。

◀/▶側に押す

- 9点AiAF：画面に大きな枠が出る（AUTOのときは出ない）。
- 中央1点：画面中央に枠が出る。
- 9点枠選択：画面に9つの枠が出る。十字ボタンを◀/▶側に押して、AF枠を選ぶ。

ミニビデオライトを使う

撮影モードに関係なく、いつでもミニビデオライトを点灯できます。

押す

● もう一度押すと、消灯する

フラッシュを使う

フラッシュを使うと、夜景や室内など、周囲が暗い場所でも静止画をきれいに撮影できます。さらに、夜や暗い室内などでフラッシュを使って人物を撮影したときに、目が赤く映る「赤目現象」を出にくくします（赤目緩和機能）。

ϟA オート	被写体の明るさによって、自動的に発光。
👁 赤目緩和オート	赤目緩和用にミニビデオライトが点灯し、自動的に発光。
ϟ 強制発光	被写体の明るさに関係なく、発光。
発光禁止	発光しない。

撮影モードは、打上げ花火（SCN）以外に設定します。

1

押す

● ボタンを押すたびに、表示が変わる。

●「ϟA」のみ、約4秒後に消える。

2

①浅く押し続ける

● ピントを合わせる。

②深く押す

❍ フラッシュ撮影可能距離は、約1～2mです。撮影条件により、距離は変わります。

❍ 連写では、フラッシュの光量が減りますので、被写体に近づいて撮影することをおすすめします。

❍「👁」では、写される人が赤目緩和用のミニビデオライトの発光を見る必要があります。赤目緩和効果の度合は、写される人との距離によって異なり、また、個人差があります。

❍ スティッチアシストモードでは「👁」は選べません。

❍ 次の場合、フラッシュは発光しません。
・「⚡A」と「👁」の場合、露出ボタンを押して露出をロックしているとき。
・ドライブモードでAEBを選んでいるとき。
❍ 次の場合は、フラッシュの設定を変更できません。
・露出ボタンを押して露出をロックしているとき。
・スティッチアシストモードで2枚目以降を撮影しているとき。
❍ 別売のワイドコンバーターやテレコンバーターをお使いのとき、フラッシュを使うことをおすすめしません。ワイドコンバーターやテレコンバーターの影が映ります。
❍ **AF補助光について**
・ピントを合わせるために、被写体の明るさによって、PHOTOボタンを浅く押したとき、ミニビデオライトが点灯することがあります。点灯しないようにすることもできます（📖 90）。
・点灯しても、自動ではピントが合わないことがあります。
❍ レストランや劇場などの公共の場所では、周囲への配慮を心がけてお使いください。

セルフタイマーを使う

カメラ・動画 / カメラ・静止画

1 押す

- カメラ・動画 のときは、撮影一時停止中に操作。

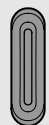
2 「カメラ設定」➤「セルフタイマー」➤「入」を選び、SET を押す

3 押す

- 「セルフタイマー」が出る。

■**解除するとき**

メニューで「切」を選ぶ

4

■**動画の場合**

押す

- 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウン（リモコンの場合は2秒）。

■**静止画の場合**

①浅く押し続ける
②深く押す

- 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウン（リモコンの場合は2秒）。

撮影開始までの時間が出ているときは、スタート/ストップボタン（動画のとき）、PHOTOボタン（静止画のとき）を押すと、セルフタイマーは解除できます。また、電源を切ると解除されます。

FUNC. 操作のしかた

本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定を FUNC.（ファンクション）メニューから変更できます。

メニュー項目は、FUNC. メニューの紹介（📖 66）をご覧ください。

例：カメラ・📷「ホワイトバランス」を「太陽光」に設定する

1 押す

2 機能を選ぶ

3 設定内容を選ぶ

- ホワイトバランスの「セット（📖 69）」、画質効果の「カスタム（📖 71）」、デジタルエフェクトを設定する場合は、各説明ページをご覧ください。

4 押す

- FUNC. メニューが消える。

- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能や設定内容は、灰色になります。
- FUNC.ボタンを押すと、FUNC. メニューはいつでも終了します。

FUNC. メニューの紹介

設定できる機能は、動作モードやメディアにより異なります。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。
各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。📖欄が「－」になっている機能は、欄外の説明をご参考ください。◎はディスクのとき、▭はカードのときに使用できます。

機能	設定内容	カメラ（動画）	カメラ（静止画）	📖
測光	**評価測光**、中央部重点平均測光、スポット測光		◎/▭	68
ホワイトバランス	**オート**、太陽光、日陰、くもり、電球、蛍光灯、蛍光灯H、セット	◎	◎/▭	69
画質効果	**画質効果切**、くっきりカラー、すっきりカラー、ソフト、美肌、カスタム	◎	◎/▭	71
ドライブモード	**単写**、連写、高速連写、AEB、スティッチアシスト		▭	73 75
D.エフェクト設定	**D.エフェクト切**、フェーダー、エフェクト、マルチ画面、カードミックス	◎		77
	D.エフェクト切、シロクロ		◎/▭	
録画モード	XP 高画質モード、SP **標準モード**、LP 長時間モード	◎		–
静止画記録	**静止画記録切**、ファイン/640×480、ノーマル/640×480	◎		88
静止画サイズ／画質	**L 2304×1736**、M1 1632×1224、M2 1280×960、S 640×480		◎/▭	86
	スーパーファイン、**ファイン**、ノーマル		◎/▭	

機能	設定内容	再生 (ムービー)	再生 (静止画)	📖
プレイリスト追加 *1	全シーン、1シーン、キャンセル	◎		97
移動 *2	—	◎		98
分割	—	◎		103
消去	—	◎		100
フォトムービー作成	—		◎/カード	112
コピー[ディスク➡カード]	—		◎	110
コピー[カード➡ディスク]	—		カード	110
画像消去 *3	—		◎/カード	108
スライドショー	キャンセル、スタート		◎/カード	44
画像プロテクト *3	切、入		カード	114
印刷指定	0～99枚		カード	146
送信指定	切、入		カード	136

*1 ：オリジナルのときのみ
*2 ：プレイリストのときのみ
*3 ：単写で静止画を記録した直後に、FUNC.ボタンを押しても設定できる

録画モード　画質や録画時間を変えます。

❍ 付属のDVD-Rの場合、本機での録画時間は以下のとおりです。
XP(高画質モード)：約20分、SP(標準モード)：約30分、LP(長時間モード)：約60分
❍ **長時間モードでは、ディスクの特性や撮影条件に影響されやすく、再生時画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影には高画質／標準モードをお使いください。**
❍ ディスクの途中で録画モードを切り換えて録画すると、切り換え部分で再生画像が乱れます。また、撮影した時間が正しく更新されないことがあります。
❍ 被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR(Variable Bit Rate)方式を採用しているため、記録時間は撮影環境によって変化します。

明るさの調整のしかたを選ぶ（測光）

静止画の明るさ（露出）調整のしかたを選んで撮影できます。

評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影をするとき。画面内を分割して測光。被写体を適正な明るさにする。
中央部重点平均測光	画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光。
スポット測光	画面中央部のスポット測光枠（[　]）内を測光。画面中央の被写体に明るさを合わせたいとき。

1 P、Tv、Av のいづれかを選ぶ

2 FUNC. 押す

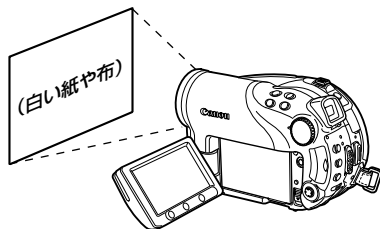
3 測光マーク ➤ 設定内容を選ぶ

4 FUNC. 押す

色合いを調整する（ホワイトバランス）

蛍光灯や太陽光など、光が変わることによる色の微妙な変化を調整します。

AWB オート	自動的に自然な色合いに調整するとき。通常の屋外。
太陽光	晴天の屋外
日陰	日陰
くもり	曇天
電球	電球や電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯
蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯
蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3波長型）の蛍光灯
セット	どのような光の下でも、白いものが白く写されるように調整したいとき。

セットを選んだとき

カメラ・ / カメラ・

1 AUTO、SCN 以外にする

2 押す

3 ホワイトバランスマーク ➤ 設定内容を選ぶ

- セットの場合は「」を選ぶ。

ステップアップ・お買い上げ時の設定を変える

つづく

■**セットを選んだとき**

T側に押す

- 白い紙や布を操作5が終わるまで、画面いっぱいに写す。

■**セットを選んだとき**

(SET) を押す

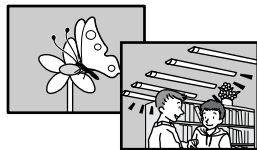
- が点滅し、色合いの調整が完了すると点灯に変わる。

押す

❍ 蛍光灯の種類によっては、「蛍光灯」および「蛍光灯H」では色合いを最適にできないことがあります。色が不自然に見えるときは、「オート」または「セット」で調整してください。

❍ **「セット」を行う場合**
- ・ごくまれに、光源によっては点灯に変わらないことがありますが、この場合でも自動調整よりも適切なホワイトバランスになりますので、そのまま撮影できます。
- ・照明の十分な場所で行ってください。また、光源が変わったときは、セットし直してください。
- ・メニューで「デジタルズーム」を「切」にしてください。

❍ 一度設定した「セット」は、電源を切っても憶えています。

❍ 次のような場合は、自動では色合いを調整できないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、「セット」で調整をしてください。
- ・照明条件が急に変わるとき
- ・クローズアップ撮影をするとき
- ・単一色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき
- ・水銀灯や一部の蛍光灯で撮影するとき

画質を効果的に処理する（画質効果）

画質を効果的に処理して撮影できます。

画質効果切	画質効果を使わないとき。	
くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調。	
すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑える。	
ソフト	輪郭の強調を抑える。	
美肌	肌をなめらかに表現して、よりきれいに見せる。	
カスタム	明るさ、コントラスト、シャープネス、色の濃さを自由に設定。	
	明るさ	（－）暗い、（＋）明るい
	コントラスト	（－）明暗差が弱い、（＋）明暗差が強い
	シャープネス	（－）輪郭強調が弱い、（＋）輪郭強調が強い
	色の濃さ	（－）薄い、（＋）濃い

カメラ・ / カメラ・

1

AUTO、 SCN 以外にする

押す

画質効果マーク ➤
設定内容を選ぶ

つづく

「美肌」は、人物を大きく撮影するときに使うと効果的です。画面の中の肌色に近い部分があるときも、ソフトに表現されます。

連写する（ドライブモード）

カードに静止画を記録するときに設定できます。

単写	1枚の静止画を撮影。
連写	連続撮影。
高速連写	
AEB	自動的に明るさを約1／2段変えて、3枚の静止画を連続撮影。標準、暗め、明るめの順で撮影し、最適な明るさを簡単に選べる。

カメラ・

AUTO 以外にする

押す

● 押すたびに、表示が変わります。

浅く押す

● ピントを合わせます。

■連写／高速連写の場合

深く押し続ける

■AEBの場合

深く押す

- AEBは、Auto Exposure Bracketing（オート エクスポージャー ブラケッティング）の略。
- FUNC. メニューからも設定できます（📖 66）。
- FUNC. メニュー表示中は、ドライブモードボタンは使用できません。
- 1回の連写で記録できる最大枚数の目安

画像サイズ	1秒あたりの記録枚数		フラッシュ使用時	連続記録可能枚数
	連写	高速連写		
2304×1736	約2.1枚	約2.1枚	約2.1枚	10枚
1632×1224	約2.5枚	約3.8枚	約2.1枚	10枚
1280×960	約3.0枚	約5.0枚	約2.5枚	60枚
640×480	約3.0枚	約5.0枚	約2.5枚	60枚

＊枚数は撮影条件や被写体によって変わります。
　が出ているときは、１秒あたりの連写枚数が少なくなります。

パノラマ写真を撮る（スティッチアシスト）

カードの静止画を、付属のDIGITAL VIDEO SOLUTION DISKに入っているソフトウェア（PhotoStitch）を使ってパソコンでつなぎ合わせて（スティッチ）、パノラマ写真を作成できます。
パノラマ写真の作成のしかたは、付属のDIGITAL VIDEO SOLUTION DISKの中の使用説明書をご覧ください。

カメラ・

押す

ドライブモードマーク➤「スティッチアシスト」を選び、SET を押す

押す

● 撮影方向を選ぶ。

撮影モード、ズームなどを設定する

● 露出補正やマニュアルフォーカスは、スティッチアシスト中は使えない。
● 2枚目以降の撮影では、撮影モード、ズームは操作できない。

ステップアップ ● お買い上げ時の設定を変える

つづく

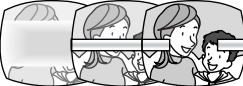
押す

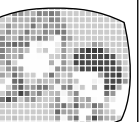
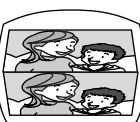
- 最初の静止画を撮影。
- 画面に撮影している方向と撮影枚数が出る。

一部が重なるように、次の静止画を撮影する

- 重ねやすいように特徴のある被写体を入れて撮影。多少ずれても、パソコンでつなぎ合わせるときに修整される。
- ◀側に押すと撮影した静止画に戻り、撮影し直せる（左方向に撮影しているときは、▶側に押す）。
- 最大26枚まで撮影できる。

■撮影が終わったとき

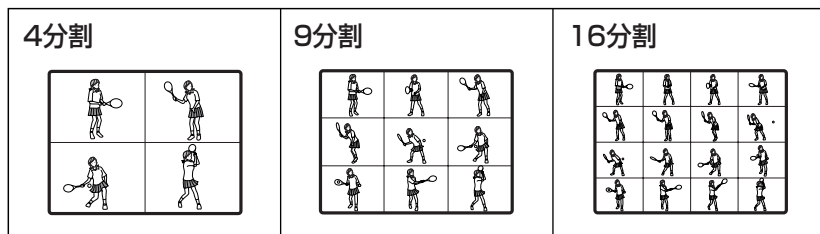
押す

- ❍ 静止画の重なる部分は、画面の幅の30%〜50%にします。また、上下のズレは、画面の上下の10%以内であれば、自動修整できます。
- ❍ 重なる部分には動いている被写体が入らないようにしてください。
- ❍ 被写体が遠くにある静止画と近くにある静止画を合成すると、合成画像がゆがんだり、被写体が二重になることがあります。

場面の切り換えと特殊効果（デジタルエフェクト）

デジタルエフェクト機能には、フェーダーとエフェクト、マルチ画面、カードミックスがあります。
（カメラ・📷）のときは、エフェクトの「シロクロ」のみ設定できます。

フェーダー：映画のようにシーンの始まりと終わりを演出（📖 78）。

エフェクト：色を変えたり、特殊効果を加える（📖 80）。

マルチ画面：画面を4／9／16分割して、静止画を表示（🕮 81）。

4分割	9分割	16分割

カードミックス：カードに記録してある静止画とカメラで撮影している映像を合成して、ディスクに記録（🕮 83）。

❍ デジタルエフェクトを使用しないときは、「D.エフェクト切」に設定します。
❍ 一度設定したデジタルエフェクトは、電源を切ったり、撮影モードを変更しても憶えています。カードミックスの場合は静止画を選び直してください。

フェーダーの操作のしかた

フェードイン：撮影一時停止中に使う
フェードアウト：撮影中に使う

AUTO 以外にする

押す

デジタルエフェクトマーク ➤「フェーダー」を選び、SET を選ぶ

フェーダーの種類を選び、(SET) を選ぶ

- 画面に映像が出ているときは、効果を確認できる。

FUNC.

押す

押す

- 表示が緑色に変わる。

■フェーダーを解除するとき

D.エフェクトボタンをもう一度押す

押す

■撮影一時停止中のとき

- 撮影が始まり、映像と音声が徐々に出る。

■撮影中のとき

- 映像と音声が徐々に消えて、撮影一時停止になる。

エフェクトの操作のしかた

音声はそのまま記録されます。

1 AUTO 以外にする

2 押す

3 デジタルエフェクトマーク ➤「エフェクト」を選び、SET を押す

■**カードに記録する場合**

デジタルエフェクトアイコン➤「シロクロ」を選び、操作5へ進む。

4 エフェクトの種類を選び、SET を押す

- 画面に映像が出ているときは、効果を確認できる。

5 押す

6 押す

- 表示が緑色に変わり、画面がその効果になる。

■**エフェクトを解除するとき**

D.エフェクトボタンをもう一度押す。

マルチ画面の操作のしかた

音声はそのまま記録されます。

カメラ・

1

AUTO、 （ナイト）以外にする

押す

3

デジタルエフェクトマーク ➤「マルチ画面」を選び、SET を押す

①▲/▼で「画面スピード」を選ぶ
②◀/▶でスピードを選ぶ

● 取り込みスピードの目安
- マニュアル：手動
- はやい：4フレームごと
- ふつう：6フレームごと
- おそい：8フレームごと

5

①▲/▼で「画面数」を選ぶ
②◀/▶で画面数を選ぶ
③ SET を押す

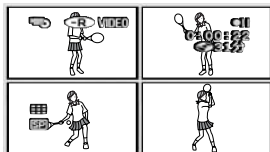
つづく

押す

押す

● 表示が緑色に変わる。

■**画面スピードが「マニュアル」以外の場合**

選んだスピードで静止画を取り込む。取り込み完了後、D.エフェクトボタンを押すと、マルチ画面は解除される。

■**画面スピードが「マニュアル」の場合**

D.エフェクトボタンを押すごとに静止画を取り込む。最後の画面が取り込まれると水色の枠が消える。

D.エフェクトボタンを１秒以上押し続けると、最後の映像から順に解除される。

画像を合成する（カードミックス）

付属のDIGITAL VIDEO SOLUTION DISKに入っているタイトルやフレーム、アニメーションなどのサンプル画像を使って、ビデオを楽しく演出できます。

カードクロマキー

イラストやフレームとカメラの映像を合成。
静止画の青い部分にカメラで撮影している映像が写る。
ミックスレベルの調整：静止画の青い部分の調整

カードルミキー

イラストやタイトルなどとカメラの映像を合成。
静止画の中の明るい部分にカメラで撮影している映像が写る。
ミックスレベルの調整：静止画の明るい部分の調整

カメラクロマキー

静止画とカメラの映像を合成。
カーテンなど青い背景の前で撮影。被写体の青以外の部分が静止画の上に写る。
ミックスレベルの調整：カメラで撮影している画面の青い部分の調整

カードアニメーション

アニメーションとカメラの映像を合成。
アニメーションの動きは、コーナー（左上と右下に表れる）／ストレート（上下に表れる）／ランダム（画面の中を動き回る）から選ぶ。
ミックスレベルの調整：静止画の青い部分の調整

カメラ・

準備 付属のDIGITAL VIDEO SOLUTION DISKの中のサンプル画像をカードに追加する。詳しくは、同じCDの中の使用説明書の「カードにサンプル画像を追加する」をご覧ください。

1. AUTO 以外にする
2. 押す
3. デジタルエフェクトマーク ➤「カードミックス」を選び、SET を押す
4. ①▲/▼で「画像選択」を選ぶ
   ②◀/▶で、カードの静止画を選ぶ

5

①▲/▼で「ミックスタイプ」を選ぶ
②◀/▶で内容を選ぶ

■ 「カードアニメーション」を選んだ場合

③▲/▼で「アニメーションタイプ」を選ぶ
④◀/▶でアニメーションの動きを選ぶ

6

①▲/▼で「ミックスレベル」を選ぶ
②◀/▶で画面を見ながら調整し、(SET)を押す

7

FUNC.

押す

8

D.エフェクト
▶/❚❚

押す

- 表示が緑色に変わる。
- カードミックス実行中は、カードに記録できない。

画質や画像サイズを選ぶ

本機ではJPEG（ジェーペグ）圧縮で静止画を記録します。
画質や画像サイズの設定、撮影条件や被写体により、1枚のカードやディスクに記録できる静止画の枚数は異なります。画像サイズは、高画質で記録したいときは大きい数値、枚数を多く記録したいときは小さい数値を選びます。

カードに記録できる枚数の目安（約）

画像サイズ	L 2304×1736			M1 1632×1224			M2 1280×960			S 640×480		
画質	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
16MB	3	6	15	9	13	25	15	20	40	75	105	170
128MB	45	70	155	85	135	250	140	215	395	690	955	1525
256MB	90	145	310	175	275	500	280	430	795	1380	1900	3040

：スーパーファイン、　：ファイン、　：ノーマル

ディスクに記録できる枚数の目安（約）

画像サイズ	L 2304×1736			M1 1632×1224			M2 1280×960			S 640×480		
画質	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
DVD-R/RW (VIDEOモード)	545	855	1815	1025	1585	2910	1630	2495	4595	7945	9999	9999
DVD-RW (VRモード)	545	855	1820	1025	1590	2915	1635	2500	4605	7960	11680*	19470*

：スーパーファイン、　：ファイン、　：ノーマル

* 画面には「9999」と出ますが、実際は表の画像数の目安まで記録できます。

- カードやディスクの静止画の枚数により、パソコンに静止画を取り込めないことがあります（Windows：1800枚以上、Macintosh：1000枚以上）。カードの静止画の場合は、カードリーダーをお使いください。
- カードやディスクに1800枚以上の静止画があるときは、PictBridge対応プリンターに接続できません。快適に操作するために、100枚以下にしてください。

押す

静止画画質・画像サイズマーク ➤ 画像サイズを選び、(SET) を押す

● 右上と右下の数字は、カードやディスクに記録できる目安の枚数。

画質を選ぶ

押す

ディスク撮影中にカードに記録する(ディスク/カード同時記録)

ディスクに動画を撮影中に、ディスクに記録している映像を同時にカードに静止画で記録できます。
カードに記録される静止画サイズは、640×480です。画質は選べます。

カメラ・

1 FUNC.

押す

2

静止画記録マーク ➤ 設定内容を選ぶ

3 FUNC.

押す

4 PHOTO

深く押す

- 画面は動画のまま、静止画がカードに記録される。

❍ ディスクへは静止画を同時記録できません。
❍ カメラ・ で、640×480の画像サイズでカードに記録するときより、画質は劣ります。
❍ デジタルエフェクト実行中や、ワイド画面で撮影しているときは、カードには記録できません。

メニュー操作のしかた

本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定をメニューから変更できます。
メニュー項目は、メニューの紹介（📖 90）をご覧ください。
例：「おしらせ音」を「切」に設定する

1 押す

2 設定する項目を選び、(SET) を押す

3 機能を選び、(SET) を押す

4 設定内容を選び、(SET) を押す

5 押す

❍ 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、黒色になります。
❍ メニューボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。

メニューメニューの紹介

設定できる機能は、動作モードやメディアにより異なります。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。
各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。📖欄が「－」になっている機能は、欄外の説明をご参考ください。◎はディスクのとき、□はカードのときに使用できます。

カメラ設定

機能	設定内容	カメラ 動画	カメラ 静止画	📖
オートスローシャッター	ON **入**、OFF 切	◎	◎/□	－
デジタルズーム	OFF **切**、40x 40×、200x 200×	◎		－
AF補助光	A **オート**、OFF 切		◎/□	63
ズームスピード	VAR **可変速**、»» スピード3 » スピード2、› スピード1	◎	◎/□	39
手ぶれ補正	ON **入**（手ぶれ補正マーク）、OFF 切	◎		－
フォーカス優先	ON **入**、OFF 切		◎/□	－
スポット測光枠	[ ] **中央固定**、[□] AF枠連動		◎/□	－
ND	A **オート**、OFF 切		◎/□	－
静止画確認時間	OFF 切、2s **2秒**、4s 4秒、6s 6秒、 8s 8秒、10s 10秒		□	－
ウィンドカット	ON 入（ウィンドカットマーク）、OFF **切**	◎		－
セルフタイマー	ON 入（セルフタイマーマーク）、OFF **切**	◎	◎/□	64

オートスローシャッター　暗めの室内など明るさが不足する場所でスローシャッターを使って明るく撮影します。

- 1/30秒（◎□ カメラ・📷 は1/15秒）までのスローシャッターになります。
- モードダイヤルが AUTO または P のときに使用できます。
- ◎□ カメラ・📷 では、フラッシュを「発光禁止」に設定します。

❍ 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。
❍ 画面に（手ぶれ警告）が出たときは、三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。

デジタルズーム　デジタルズームの設定を選びます。

❍ デジタルズームを設定したときは、光学ズーム領域を越えると、自動的にデジタルズームになります。
❍ デジタルズーム領域では画像をデジタル処理するため、拡大するほど画像が粗くなります。
❍ ズーム表示は、10倍から40倍までは水色、40倍から200倍までは青色になります。
❍ 次の機能が設定されているときは、使用できません。
ナイトモード、マルチ画面

手ぶれ補正　ズームの望遠側で撮影するときなど、手ぶれの少ない安定した画面で撮影できます。

❍ 手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
❍ 暗いところで、ナイトモードで撮影すると、手ぶれ補正が効きにくくなります。
❍ モードダイヤルが AUTO のときは、解除できません。
❍ 三脚などを使って撮影するときは、手ぶれ補正を切ることをおすすめします。

フォーカス優先　PHOTOボタンを押したときに、ピントが合ってから静止画を記録します。

❍ PHOTOボタンを押してすぐに静止画を記録したいときに、「切」を選びます。
❍「切」を選んだとき、AF枠は出ません。
❍ モードダイヤルが AUTO のときは、解除できません。
❍ 撮影モードが打上げ花火（SCN）のとき、自動的に「切」になります。

スポット測光枠　FUNC. メニューで「測光方式」を「スポット測光」にしているときに、測光用のスポット測光枠の設定を切り換えます。

「中央固定」　画面中央の被写体に露出を合わせる。
「AF枠連動」AF枠の位置を選べるとき（9点枠選択）、AF枠に合わせてもスポット測光枠が動く。

❍ モードダイヤルが P 、Tv 、Av 以外のときは、「中央固定」になります。
❍ 設定内容は、モードダイヤルを切り換えても憶えています。

メニューの紹介ーつづき

ND　光量を抑えるNDフィルターを自動で入れます。

❍ モードダイヤルが **P** のときに使用できます。

静止画確認時間　カードに静止画を記録した直後に、静止画を確認する時間を変えます。

❍ 静止画確認時間中にFUNC.ボタンを押すと、画像消去（□ 109）、画像プロテクト（□ 114）ができます。静止画確認時間を「切」に設定したときは記録直後に操作します。
❍ ドライブモードで連写、高速連写、AEBを選んでいると、静止画確認時間は設定できません。

ウィンドカット　風の影響を受ける屋外で撮影する際、風の「ボコボコ」という音の影響を低減できます。

❍ モードダイヤルをAUTO以外にして、操作してください。
❍ 低い音の一部も風の音と一緒に低減されます。通常は、「切」で撮影することをおすすめします。

ディスク実行

機能	設定内容	カメラ 動画	カメラ 静止画	再生 動画	再生 静止画	□
ディスク情報表示	–	◎	◎	◎	◎	–
ディスク初期化	VIDEO、VR	◎	◎	◎	◎	105
ファイナライズ実行	いいえ、はい	◎	◎	◎	◎	117
ファイナライズ解除	いいえ、はい	◎	◎	◎	◎	120
動画全消去	いいえ、はい			◎		102
プレイリスト全消去*	–			◎		102
ディスクプロテクト	いいえ、はい			◎	◎	104
一括フォトムービー作成	いいえ、はい				◎	113
ディスクタイトル	–			◎		107

＊ ：プレイリストのときのみ

ディスク情報表示　ディスクに関する情報を確認できます。

- ディスクタイトル、ディスクの種類（DVD-R／RW）、記録方式（VRモード／VIDEOモード）、ファイナライズ（Ⓕ）やディスクプロテクト（　）しているかなどの情報を確認できます。

静止画実行

機能	設定内容	再生		
		動画	静止画	
印刷指定全消去	いいえ、はい		○	148
送信指定全消去	いいえ、はい		○	138
画像全消去	いいえ、はい		◎/○	109
カード初期化	いいえ、はい		○	116
静止画全コピー カード➡ディスク	いいえ、はい		○	111
静止画全コピー ディスク➡カード	いいえ、はい		◎	111
➡画像プロテクト*	プロテクト設定画面へ		○	115
➡印刷指定 *	印刷指定設定画面へ		○	147
➡送信指定 *	送信指定設定画面へ		○	137

＊　：インデックス画面のとき

表示設定

機能	設定内容	カメラ（動画）	カメラ（静止画）	再生（動画）	再生（静止画）	📖
液晶明るさ調整	（調整バー）	◎	◎/カード	◎	◎/カード	–
液晶対面ミラー	ON 入、OFF 切	◎	◎/カード			–
データコード	日付、時刻、**日付&時刻** カメラデータ、日時&カメラデータ			◎		48
	日付、時刻、**日付&時刻**				◎/カード	
水平マーカー	ON 入、OFF **切**	◎				–
言語	DEUTSCH（ドイツ語）、ENGLISH（英語）、ESPAÑOL（スペイン語）、FRANÇAIS（フランス語）、ITALIANO（イタリア語）、POLSKI（ポーランド語）、РУССКИЙ（ロシア語）、简体中文（簡体中国語）、繁體中文（繁体中国語）、한국어（ハングル）、ภาษาไทย（タイ語）、**日本語**	◎	◎/カード	◎	◎/カード	–

液晶明るさ調整　液晶画面の明るさを調整します。

- 十字ボタンを◀/▶側に押して調整します。
- ディスクやカードに記録されたり、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。また、ファインダーの明るさは変わりません。

液晶対面ミラー　対面撮影のときに、液晶画面上の映像や表示が左右逆になり、鏡を見ているような映像になります。

水平マーカー　画面中央に水平を示す線が出ます。水平を確認しながら撮影できます。

言語　画面に出る言語を変えます。

- 印刷やダイレクト転送などの設定画面で出る SET と メニュー は、変わりません。

システム設定

機能	設定内容	カメラ		再生		📖
		動画	静止画	動画	静止画	
静止画メディア選択	カード、ディスク		◎/カード		◎/カード	38
リモコンセンサー	ON 入、OFF 切	◎	◎/カード	◎	◎/カード	–
音量				◎		46
おしらせ音	大、小、OFF 切	◎	◎/カード	◎	◎/カード	–
パワーセーブ	ON 入、OFF 切	◎	◎/カード			–
画像番号	オートリセット、通し番号	◎	◎/カード			–
テレビタイプ	4:3 ノーマルテレビ、16:9 ワイドテレビ			◎		–

リモコンセンサー　リモコンセンサーを受け付け、本機を操作します。

おしらせ音　電源を入れたり、セルフタイマーを使うときなどに音が鳴ります。

パワーセーブ　バッテリーを使用時、約5分間何も操作をしないと、省電のために電源が切れます。電源が切れる約30秒前に、「⚠AUTO POWER OFF」が出ます。

画像番号　カードやディスクに記録する静止画の画像番号の付けかたを選びます。

カードやディスクに記録した静止画は、自動的に0101～9900までの画像番号が付き、１つのフォルダーに100枚ずつ保存されます。それぞれのフォルダーには、101～998までの番号が付きます。

「オートリセット」　画像番号は、101-0101から始まる。すでに静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。

「通し番号」　画像番号は、最後に記録した静止画の続き番号から始まる。画像番号の方が大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

- ❍ 通常は、「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。
- ❍ 画像番号の設定は、ディスクとカード共通の設定になります。

テレビタイプ　接続するテレビに合わせて選びます。映像の縦・横の比率を正しく再生します。

「4：3　ノーマルテレビ」 ノーマルテレビに接続するときに選ぶ。
「16：9　ワイドテレビ」 ワイドテレビに接続するときに選ぶ。

日時設定

機能	設定内容	カメラ（動画）	カメラ（静止画）	再生（動画）	再生（静止画）	📖
エリア/サマータイム	―	◎	◎/□	◎	◎/□	29
日付/時刻	―	◎	◎/□	◎	◎/□	30
日時スタイル	**Y.M.D (2006.1.1 AM12:00)**、M.D,Y (JAN. 1, 2006 12:00AM)、D.M.Y (1.JAN.2006 12:00AM)	◎	◎/□	◎	◎/□	―

日時スタイル　日時の表示のしかたを変えます（印刷時を含む）。

プレイリストを作成する

：DVD-RW、**記録方式**：VRモード

プレイリストとは、撮影したシーンを再生（プレイ）したい順に並べた一覧（リスト）のことです。お好みのシーンを集めて自分だけのアルバムをつくることができます。プレイリストのシーンの移動や消去、分割をしても、撮影したオリジナルデータは変わりません。

準備	1つのシーンを追加する場合は、はじめに追加するシーンを選ぶ。

再生・

押す

（プレイリスト追加）を選び、SET を押す

3

「全シーン」または「1シーン」を選び、SET を押す

つづく

4

「はい」を選び、(SET) を押す

● プレイリストボタンを押すと、追加したシーンが確認できる。

■「全シーン」のとき

■「1シーン」のとき

プレイリストのシーンを移動する

お好みの順に、プレイリスト内のシーンを並べ替えられます。

1

ワイドTV プレイリスト

押す

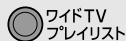
2

移動するシーンを選ぶ

3

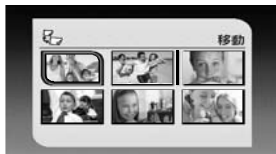
FUNC.

押す

4

（移動）を選び、SET を押す

5

①移動したい位置に、オレンジ色のバーを動かす
② SET を押す

6

「はい」を選び、SET を押す

シーンを消去する

：DVD-RW、**記録方式**：VIDEOモード/VRモード

不要になったシーンを1つ消去したり、すべてのシーンを一度に消去したりできます。
記録方式がVIDEOモード（DVD-RW）のとき、撮影直後にシーンを消去できます。
オリジナル内のシーンを消去するとプレイリスト内のシーンも同時に消去されます。
プレイリスト内のシーンを消去しても、元のオリジナルデータは消去されません。

一度消去したシーンは元に戻りません。消去する前にシーンを確認してください。

❍ ディスクプロテクトしているときは、シーンを消去できません。
❍ オリジナルの場合、5秒未満のシーンは消去できないことがあります。

インデックス画面でシーンを1つ消去する

DVD-RW（VRモード）のとき、インデックス画面でシーンを1つ消去できます。

準備　プレイリスト内のシーンを消去するときは、はじめにプレイリストボタンを押す。

再生・

1

消去するシーンを選ぶ

2

押す

（消去）➤「はい」を選び、SETを押す

■オリジナルのとき

■プレイリストのとき

記録直後にシーンを１つ消去する

DVD-RW（VIDEOモード/VRモード）のとき、記録直後にシーンを消去できます。

カメラ・

押す

● 記録直後に押し、録画チェックを行う。

（消去）➤「はい」を選び、SETを押す

消去中は、電源スイッチや動画/静止画切替スイッチを切り換えないでください。

シーンを全て消去する

DVD-RW（VRモード）のとき、シーンを消去できます。

再生・🎥

準備　プレイリスト内のシーンを消去するときは、はじめにプレイリストボタンを押す。

押す

■オリジナルの場合

「ディスク実行」➤「動画全消去」を選び、SETを押す

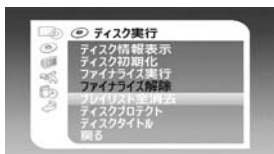
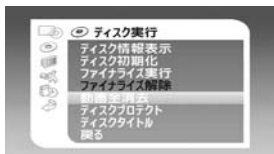
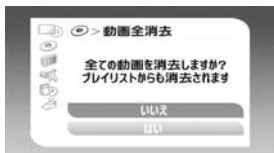
■プレイリストの場合

「ディスク実行」➤「プレイリスト全消去」を選び、SETを押す

3

「はい」を選び、SETを押す

■オリジナルのとき

4

押す

シーンを分割する

：DVD-RW、**記録方式**：VRモード

撮影したシーンを分割すると、不要なシーンを消去したりできます。オリジナルとプレイリストで、それぞれ独立してシーンを分割できます。
フォトムービーは分割できません。

再生・

準備　プレイリスト内のシーンを分割するときは、はじめにプレイリストボタンを押します。

1

分割するシーンを選ぶ

2　FUNC.

押す

3

（分割）を選び、SET を押す

- 再生が始まる。

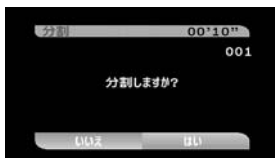
4

（分割）を選び、分割する場所で、SET を押す

- 早送り、早戻し、スロー再生機能などを使って、好きな場所に合わせる（📖 42）。

⏮／⏭：再生中のシーン、または後ろのシーンの先頭へ。
◀II／II▶：逆コマ送り／コマ送り。

「はい」を選び、SET を押す

- 分割したもとのシーンの次に挿入される。

編集・動画

ディスクを保護する(ディスクプロテクト)

：DVD-RW、記録方式：VRモード

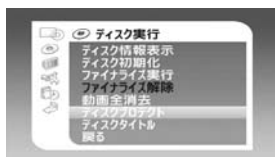
大切な画像を誤って編集や消去しないように、ディスク内の全ての画像に対して誤消去防止（プロテクト）の設定ができます。

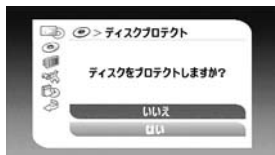
ディスクプロテクト設定をしても、ディスク初期化するとすべての画像は消去されます。

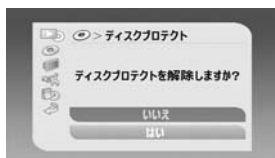
1

押す

2

「ディスク実行」➤「ディスクプロテクト」を選び、SET を押す

3

「はい」を選び、SET を押す

■解除するとき

「ディスクプロテクト」➤「はい」を選び、SET を押す

ディスクを初期化する（ディスク初期化）

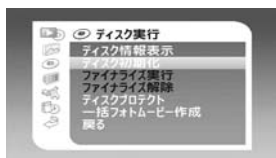
：DVD-RW、**記録方式**：VIDEOモード/VRモード

新しいディスクを使うときや、「ディスクエラーです」というお知らせ表示が出たときに行います。また、記録方式を選ぶときや、ディスクに記録した画像などの情報すべてを消去するときにも行います。

❍ 初期化を行うと、ディスクプロテクトを設定していても、すべての情報が消え、元に戻せません。
❍ DVD-RWを使用するときは、本機で初期化してからご使用ください。

カメラ・動画 / 再生・動画 / カメラ・静止画 / 再生・静止画

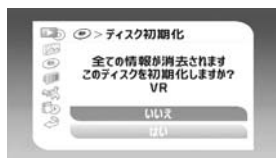
押す

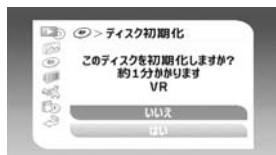
「ディスク実行」➤「ディスク初期化」を選び、SET を押す

3

「VIDEO」または「VR」を選び、SET を押す

- 記録方式については、「ディスクを選ぼう！」（📖 4）をご覧ください。

つづく ▷

編集・動画

「はい」を選び、SET を押す

「はい」を選び、SET を押す

■ディスク実行画面に戻ったとき

押す

ディスクに名前をつける（ディスクタイトル）

：DVD-R/RW、**記録方式**：VIDEOモード/VRモード

ファイナライズする前に、ディスクに名前をつけられます。ディスクタイトルはほとんどのDVDプレーヤーで再生するときに、テレビ画面に出ます。また、メニューで「ディスク情報表示」を選んだときにも確認できます。

再生・

押す

「ディスク実行」➤「ディスクタイトル」を選び、SET を押す

3

入力する文字 ➤「終了」を選び、SET を押す

- 英数字、記号で20文字入力できる。

■一文字消去するとき

「クリア」を選び、SET を押す。

「はい」を選び、SET を押す

5

押す

■ディスクタイトルを変更するとき

操作1～5の操作を繰り返す

編集・動画

静止画を消去する（画像消去）

：DVD-RW、**記録方式**：VIDEOモード/VRモード

不要になったカードとディスクの静止画を1枚消去したり、すべての静止画を一度に消去したりできます。

一度消去した静止画は元に戻せません。消去する前に静止画を確認してください。

ディスクをプロテクトしたり、カードの静止画をプロテクトしている場合は、静止画を消去できません。

再生中に1枚消去する

ディスクの場合はDVD-RW（VRモード）のとき、静止画を再生中に1枚消去できます。

1. 押す
2. （画像消去）➤「消去」を選び、SET を押す
3. 押す

記録直後に1枚消去する

DVD-RW（VIDEOモード／VRモード）のとき、静止画を記録直後に消去できます。カードのときはメニューで設定した静止画確認時間中に消去できます。静止画確認時間を「切」に設定したときは記録直後に消去します。

カメラ・

押す

- 静止画を記録直後、または静止画確認時間中に押す。

（画像消去）➤「消去」を選び、SET を押す

再生中に静止画を全て消去する

ディスクの場合はDVD-RW（VRモード）のとき、静止画を全て消去できます。

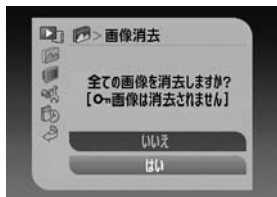
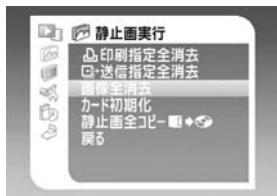
押す

「静止画実行」➤「画像全消去」を選び、SET を押す

「はい」を選び、SET を押す

- （プロテクトした）静止画を除く、メディア内の選択したすべての静止画を消去。

押す

編集・静止画

静止画をコピーする

：DVD-R/RW、**記録方式**：VIDEOモード/VRモード

ディスクに記録した静止画をカードに、カードに記録した静止画をディスクにコピーできます。

一枚の静止画をコピーする

押す

または ➤
「コピー［ ➡ ］」
または「コピー［ ➡ ］」
➤「実行」を選び、
を押す

3

押す

全ての静止画をコピーする

押す

「静止画実行」➤「静止画全コピー ➡ 」または「静止画全コピー ➡ 」を選び、SETを押す

- 静止画容量とコピー先の空き容量が出る。

「はい」を選び、SETを押す

押す

編集・静止画

- 他機で記録した静止画は、コピーされないことがあります。
- コピー先の空き容量が足りない場合、コピーは中断されます。
- コピーする静止画の枚数が多いと、時間がかかる場合があります。

静止画をつなげてムービーにする（フォトムービー）

ディスクまたはカードの静止画を、一つの動画ファイル（MPEG圧縮）に変換します。動画をDVDビデオ機器などで再生するときに、静止画をスライドショー（3秒ごと）として再生できます。
一括フォトムービーの場合は、カードの静止画は、はじめにディスクにコピーする必要があります。

一枚の静止画をフォトムービーにする

再生・📷

1 FUNC.

押す

2

（フォトムービー作成）➤「実行」を選び、SETを押す

- 再生・🎥 のオリジナルにシーンとして追加される。

フォトムービー作成 SET
キャンセル 実行
101-0115
10/10
2304x1736

3 FUNC.

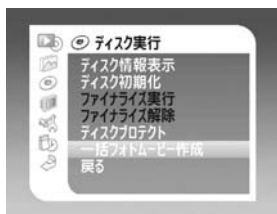
押す

全ての静止画をフォトムービーにする

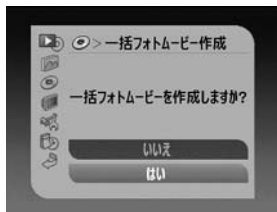
準備　カードの場合は、はじめにカードの静止画をディスクにコピーする（□ 110）。

押す

「ディスク実行」➤「一括フォトムービー作成」を選び、SET を押す

3

「はい」を選び、SET を押す

- 再生・🎥 のオリジナルにシーンとして追加される。

4

押す

- ❍ フォトムービー作成中に、ディスクの空き容量がなくなった場合には中断されます。
- ❍ フォトムービーを作成しても、もとの静止画は残ります。

カードの静止画を保護する（画像プロテクト）

カード内の大切な静止画を誤って消去しないように、誤消去防止（画像プロテクト）の設定ができます。

画像プロテクト設定をしても、カードを初期化するとすべての静止画は消去されます。

設定のしかた

カメラ・静止画 のときはメニューで設定した静止画確認時間中に設定できます。静止画確認時間を「切」に設定したときは記録直後に設定します。

インデックス画面を使う

再生・📷

1

W側に押す

2

静止画を選ぶ

3

押す

4

「静止画実行」➤「➡🔑画像プロテクト」を選び、SETを押す

5

SETを押す

- もう一度押すと、解除できる。
- ▲/▼/◀/▶側に押すと、他の画像を選べる。

6

押す

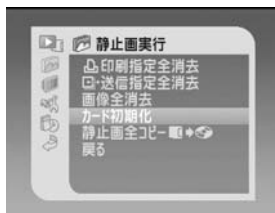
- 通常のインデックス画面に戻る。

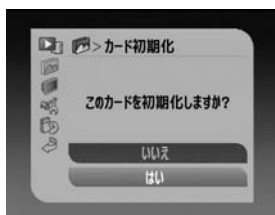
カードを初期化する（カード初期化）

カード初期化は、新しいカードを使うときや、「カードエラーです」というお知らせ表示が出たときに行います。また、カードに記録した静止画などの情報すべてを消去するときにも行います。

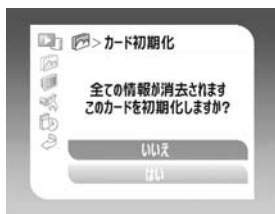
- ❍ カードを初期化すると、プロテクト設定した静止画まで、すべての情報が消え、元に戻せません。
- ❍ カードを使用するときは、本機で初期化してください。

押す

「静止画実行」➤「カード初期化」を選び、(SET)を押す

3

「はい」を選び、(SET)を押す

4

「はい」を選び、(SET)を押す

- カード初期化され、すべての情報が消去される。

5

押す

見るための処理をする（ファイナライズ）

：DVD-R/RW、**記録方式**：VIDEOモード/VRモード

ファイナライズする

ディスクの画像を、DVDプレーヤーなどの他の機器で再生できるようにする処理（ファイナライズ）を行います。静止画はフォトムービーにしてからファイナライズすると、他機で再生できます（📖 119）。

❍ **必ず常温で行ってください。高温下で行い、中断した場合は電源を取りはずし、本機を冷ましてから操作し直してください。**
❍ **本機を机などの安定した所に置いて行ってください。ファイナライズボタンを押した後や、メニューで「ファイナライズ実行」を選んだ後に衝撃（机に置く、AV ケーブルを抜くなど）を与えると、データが破損する恐れがあります。**
❍ 必ずコンパクトパワーアダプターにつないでください。バッテリーではファイナライズできません。
❍ ファイナライズ中は、コンパクトパワーアダプターを抜かないでください。正しくファイナライズされず、ディスクのデータが破損します。
❍ ファイナライズを行うと、ディスクの種類や記録モードによって、追加の記録やディスク初期化に制限が出ます。
❍ 本機で撮影したディスク以外はファイナライズしないでください。

❍ ファイナライズにかかる時間は、ディスクの空き容量や記録の状態によって異なります。
❍ ファイナライズは、ファイナライズボタンを押して実行する他に、メニューで「ディスク実行」➤「ファイナライズ実行」を選んでも、実行できます。

ファイナライズ後にできる操作は次のとおりです。

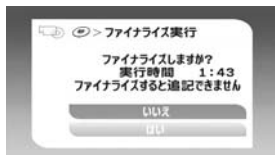
	追加の記録	編集	ディスク初期化	ファイナライズ解除
DVD-R（VIDEOモード）	―	―	―	―
DVD-RW（VIDEOモード）	○*	―	○	○
DVD-RW（VRモード）	○	○	○	―

*ファイナライズ解除が必要。

見るための処理をする（ファイナライズ）ーつづき

1 押す

2 「はい」を選び、(SET) を押す

- ファイナライズに必要な時間が出る。
- ファイナライズ後、カメラ・ / カメラ・ / 再生・ / 再生・ のとき、画面に「Ⓕ」が出る。

他機でディスクを再生する

再生するための処理（ファイナライズ）をしたディスクの動画や静止画を、DVD-RまたはDVD-RWに対応したDVDプレーヤーやパソコンなどで再生します。
詳しくは、DVDプレーヤーやパソコンなどの説明書をご覧ください。

DVDプレーヤーやパソコンなどで再生する

■DVDプレーヤーの場合

テレビとDVDプレーヤーの電源を入れる

■パソコンの場合

起動する

■DVDプレーヤーの場合

ファイナライズしたディスクを入れる

■パソコンの場合

ファイナライズしたディスクをDVDドライブに入れる

3

再生する

- パソコンで静止画を見るときは、DVD再生ソフトウェアは使用しない。ソフトウェアが起動したら終了する。

パソコンで再生する場合、DVD再生ソフトウェアがインストールされていることが必要です。

- ❍ VRモードで撮影した場合、DVD-RWのVRモードに対応した機器でのみ再生できます。
- ❍ お使いの機器によっては、ディスクを再生できない場合があります。
- ❍ 静止画をDVDプレーヤーで再生するためには、フォトムービーを作成する必要があります（📖 112）。
- ❍ フォトムービーは、解像度が下がるため、きれいに再生されないことがあります。

処理をした後に追加記録する（ファイナライズ解除）

：DVD-RW、**記録方式**：VIDEOモード

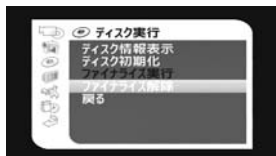
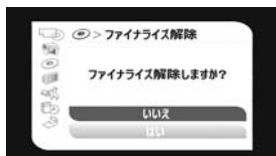
ファイナライズを解除すると、もう一度追加で記録できます。

- ❍ **必ず常温で行ってください。高温下で行い、中断した場合は電源を取りはずし、本機を冷ましてから操作し直してください。**
- ❍ **本機を机などの安定した所に置いて行ってください。メニューで「ファイナライズ解除」を選んだ後に衝撃（机に置く、AV ケーブルを抜くなど）を与えると、データが破損する恐れがあります。**
- ❍ 必ずコンパクトパワーアダプターにつないでください。
- ❍ ファイナライズ解除中は、コンパクトパワーアダプターを抜かないでください。正しくファイナライズ解除されず、ディスクのデータが破損します。
- ❍ 本機でファイナライズしたディスク以外は、ファイナライズ解除できません。

	ファイナライズ解除できる
DVD-R（VIDEOモード）	―
DVD-RW（VIDEOモード）	○
DVD-RW（VRモード）	―（ファイナライズ解除しなくても追加記録できる。）

カメラ・ / **再生・** / **カメラ・** / **再生・**

押す

「ディスク実行」➤
「ファイナライズ解除」
を選び、SET を押す

「はい」を選び、SET を押す

■ディスク実行画面に戻ったとき

押す

テレビで見る

接続のしかた

接続は、各機器の電源を切って行います。接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。接続するテレビのタイプを16：9ワイドテレビと4：3ノーマルテレビから選べます（□ 96）。

信号の流れ

S-映像/音声端子付き
テレビ/ビデオ機器

映像/音声端子付き
テレビ/ビデオ機器

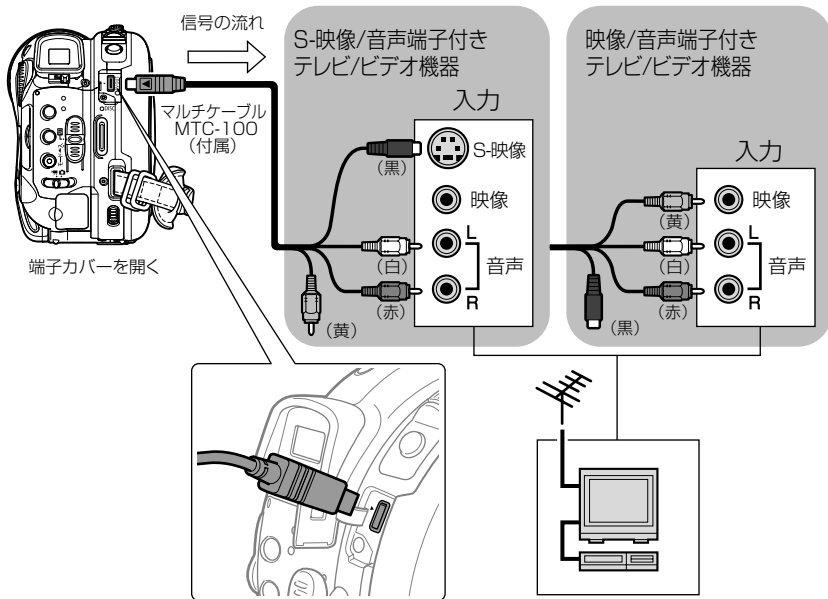
マルチケーブル
MTC-100
（付属）

端子カバーを開く

入力

S-映像
（黒）
映像
L
音声
R
（白）
（赤）
（黄）

入力

映像
（黄）
L
音声
R
（白）
（赤）
（黒）

❍ 本機とマルチケーブルの「▶」の向きが合う方向に差し込んでください。
❍ マルチケーブルは、正しくまっすぐ抜いてください。

操作のしかた

テレビ/ビデオ機器の電源を入れる

● テレビ：テレビ／ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。
● ビデオ機器：入力切り換えスイッチを「外部入力（ライン）」にする。

動画（シーン）を再生する（📖41）
静止画を再生する（📖43）

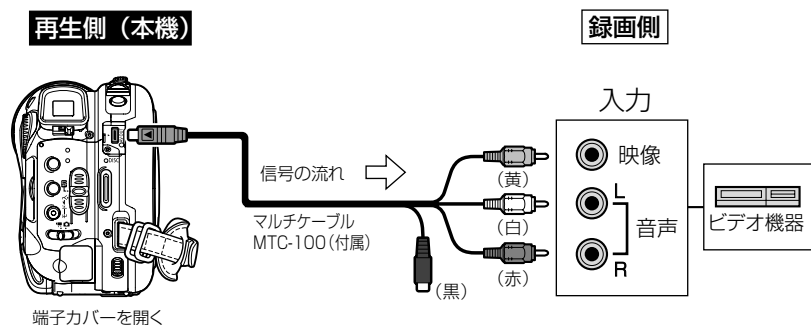
❍ コンパクトパワーアダプターにつないで使うことをおすすめします。
❍ ディスクの画像をS-映像端子付きのテレビに接続してご覧になると、DVD方式の持つ高画質を十分にお楽しみいただけます。

ほかのビデオ機器へ録画する

本機を再生機として、ビデオ機器を録画機として使うことで、本機でディスクに記録した動画やフォトムービーをダビング編集できます。

接続のしかた

映像/音声端子付き／S-映像端子付きビデオ機器へ録画する

S-映像端子付きビデオ機器と接続する場合は、121ページをご覧ください。

コンパクトパワーアダプターにつないで使うことをおすすめします。

操作のしかた

（再生・🎥）

1 「入」にして、再生モードにする

2 本機

再生するディスクを入れる

つづく

録画機

録画一時停止状態にする

本機

再生を始めるシーンを選ぶ

D.エフェクト
►/II

本機

押す

- 再生が始まる。
- 本機に出る日時やカメラデータを入れて録画できる。ディスプレイボタンを押すたびに、表示が切り換わる（📖 48）。

録画機

録画を開始する場面で、録画を始める

録画機

録画を終える

本機

押す

- 再生が終わる。

ディスクの画像を取り込む(Roxio MyDVD for Canon)

Windowsでのみ、付属のRoxio MyDVD for Canonを使って、ディスクに記録した動画および静止画をパソコンへ取り込めます。また、取り込んだ動画の簡単な編集や自分だけのDVD作成ができます。
詳しくは、MyDVD for Canonのヘルプまたはチュートリアルをご覧ください。
MyDVD for Canonでできることは、次のとおりです。

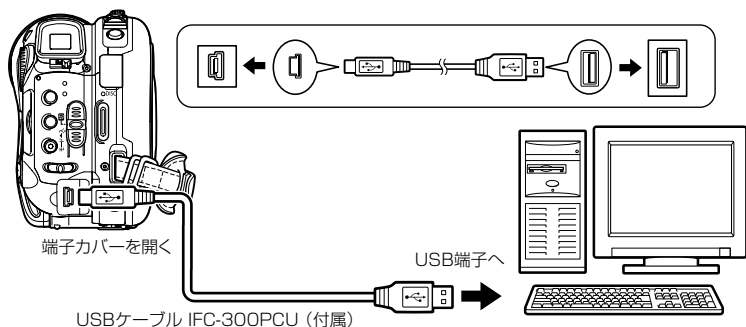
ワンタッチダビング（Windows XPのみ）	パソコンのDVD記録ドライブに未使用のディスクをセットし、本機の⎙〜ボタンを押して、ディスクをコピー。
画像の取り込み	ディスクの画像をパソコンに取り込む。
バックアップDVDの作成	パソコンの画面から操作して、本機でディスクの画像を別のディスクへコピー。パソコンに書込み可能なドライブがない場合は、DC40を使ってコピーできる。

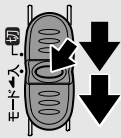
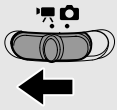
動作環境
・ Microsoft Windows 2000、Me、XP
・ Microsoft Windows Media Player 9 以降
・ CPU：Pentium III 1 GHz 以上（1.5GHz 以上を推奨）
・ メモリー：128 MB RAM (256 MB を推奨)
・ 最低 10 GB のハードディスク空き容量（20 GB 以上を推奨）
・ モニター：1024 X 768 ドット、16 ビットカラー以上のビデオカード及びモニター
・ インターネット接続環境（MyDVD のユーザー登録に必要）

❍ **MyDVD for Canonのインストール後**
インターネット環境のもと、初回起動時に必ずユーザー登録を行ってください。ユーザー登録を行わないと使用できません。
❍ **お問い合わせ先**
キヤノン株式会社/キヤノン販売株式会社では、MyDVDに関する問い合わせを承っておりません。裏表紙に記載されているソニック・ソルーションズ　サポートセンターにお問い合わせください。
❍ 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。

❍ MyDVD for Canonの機能を使って作成されたディスクは、ファイナライズ解除できません。
❍ インターネットの接続環境によっては、ユーザー登録に時間がかかる場合があります。

準備する

はじめてビデオカメラをパソコンにつなぐときには、ソフトウェアのインストールとユーザー登録が必要です。2度目からは、ビデオカメラをパソコンにつなぐだけで、準備は完了です。

再生・

1 パソコンを起動する

2 Roxio MyDVD for Canonを、パソコンのCD-ROMドライブまたはDVDドライブに入れる

- インストール画面が自動的に出る。
- パソコンの画面に出る指示に従って、進める。
- インストールが完了したら、MyDVD for Canonをパソコンから取り出す。

3 本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐ

4

①「入」にする
②下に押して再生モードにする

5

「'▀」にする

6

付属のUSBケーブルで本機とパソコンをつなぐ

❍ **インストール画面が自動で出ないとき**

①[マイ コンピュータ]を選ぶ

・Windows 2000、Me：デスクトップの[マイ コンピュータ]をダブルクリックして開く。

・Windows XP：[スタート]メニューから[マイ コンピュータ]を選ぶ。

②CD-ROM/DVDアイコンを右クリックし、[開く]を選ぶ

③[SET UP .EXE]をダブルクリックする

・お使いのパソコンにより「.EXE」という拡張子が出ないことがある。

❍ 以下の操作を本機で行う場合は、パソコンにつないでも認識されません。

・シーンを全消去するとき
・ディスクを初期化するとき
・ディスクをプロテクトするとき
・ファイナライズを実行/解除するとき
・ディスクタイトルを入力するとき

❍ ケーブルは、正しい向きで接続してください。

ワンタッチダビング

パソコンに、DVD-R/RWへ書き込み可能なドライブが必要です。

再生・

本機にファイナライズ済みのディスクを入れる

パソコンのDVDドライブに未使用のDVD-R/RWを入れる

- ボタンが点灯。
- VRモード（記録方式）で記録したDVD-RWをコピーする場合は、パソコンにDVD-RWを入れる。

押す

- コピー中はボタンが点滅し、完了すると消灯。
- コピーされたディスクは、自動的にファイナライズされ、排出。

❍ 事前にMyDVD for Canonを起動して、ユーザー登録を行ってください。
❍ 1台のパソコンに複数のキヤノン製DVDビデオカメラを接続してワンタッチダビングする場合の動作は保証していません。

❍ **コピーが中断されたとき**
· 「中断されました」が本機の画面に出ます。
· 本機からディスクを出したり、MyDVD for Canonを起動すると「中断されました」は消えます。
❍ 本機のディスク動作ランプが点滅しているときは、データを破壊することがありますので、次のことを必ず守ってください。
· 本機に振動を与えない。
· ディスクカバーを開けたり、ディスクを出したりしない。
· USBケーブルを絶対に抜かない。
· 本機やパソコンの電源を切らない。
· 電源スイッチや動画/静止画切り換えスイッチを切り換えない。
❍ パソコンで再生する場合、DVD再生ソフトウェアがインストールされていることが必要です。

❍ 本機をコンパクトパワーアダプターにつないで使うことをおすすめします。
❍ パソコンの説明書もあわせてご覧ください。
❍ MyDVDの制限事項に関しては、MyDVD for Canonのヘルプ内の「README」をご覧ください。
❍ MyDVD for Canonでは、VRモードで長時間モード（LP）に設定されているときにワイド画面で撮影したシーンを正しく取り込めません。
❍ ワンタッチダビングするとき、ディスクの状態によっては時間がかかる場合があります。
❍ 操作2で凸〜 ボタンが点灯しない場合は、パソコンのデスクトップのツールバーに アイコンが出ているかご確認ください。 アイコンが出ていない場合はワンタッチダビングできません。本機とパソコンからUSBケーブルを抜いて、パソコンを再起動してください。本機の電源を入れ直してから、再度本機をパソコンにつないでください。

画像の取り込み

再生・🎥

本機にディスクを入れる
- ファイナライズ済みディスク、ファイナライズしていないディスクの両方が使える。

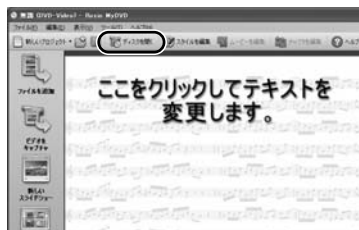
2

MyDVD for Canonを起動する

3

[DVD-Video]をクリックする

4

[ディスクを開く]をクリックする

[インポート]をクリックする
- MyDVDの編集画面に、画像が出る。

[プロジェクトを保存]をクリックする
- パソコンに、編集画面に出た画像が保存される。

MyDVD for Canonでは、VRモードで長時間モード（LP）に設定されているときにワイド画面で撮影したシーンを取り込めません。

バックアップDVDの作成

再生・🎥

1 本機にファイナライズ済みのディスクを入れる

2 MyDVD for Canonを起動する

3 [DVDのバックアップを作成]をクリックする

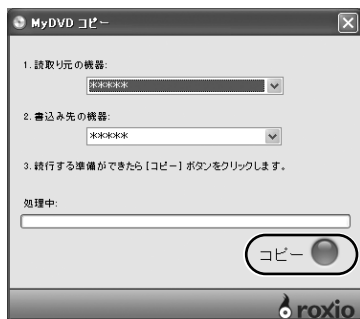
4 [読取り元の機器]に[CANON DC40]を選ぶ

5 [書込み先の機器]に書き込み可能なDVDドライブを選ぶ

- 書き込み先に[CANON DC40]以外のDVDドライブを選んだ場合、書き込み先のDVDドライブに未使用のDVD-R/RWを入れる。
- パソコンに書き込み可能なドライブがない場合は、[CANON DC40]を選ぶ。

6 [コピー]をクリックする

- コピーが始まる。

つづく

パソコンの画面に出る指示に従って進めてください。

[OK]をクリックする

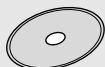
● コピーされたディスクは、自動的に排出。

❍ 必ず、本機をパソコンにつないだ後に、未使用のディスクを本機またはパソコンに入れてください。
❍ パソコンに入れるディスクは、内容を消去したDVD-RWも使用できます。内容を消去するにはDVDライティングソフトが必要です。
❍ パソコンの画面に「ブランクDVDまたはリライタブルDVDをDVDドライブに挿入してください。」が出て、操作 5 で選んだDVDドライブとは異なるDVDドライブが排出されたときは、［キャンセル］をクリックします。もう一度操作 6 から操作し直してください。コピー元の記録済みディスクがDVD-RWの場合はディスクに記録された画像が消去される場合があります。

静止画を取り込む（ダイレクト転送）

付属のUSBケーブルとDigital Video Softwareを使うと、⎙〜（イージーダイレクト）ボタンを押すだけで、簡単にディスクやカードに記録した静止画をパソコンに転送できます。

準備する

初めてビデオカメラをパソコンにつなぐときには、ソフトウェアのインストールと自動起動の設定が必要です。2度目からは、ビデオカメラをパソコンにつなぐだけで、準備は完了です。

パソコンにDigital Video Softwareをインストールする

- 詳しくは、DIGITAL VIDEO SOLUTION DISKの中の使用説明書の「Digital Video Softwareをインストールする」をご覧ください。

付属のUSBケーブルで本機とパソコンをつなぐ

- 詳しくは、DIGITAL VIDEO SOLUTION DISKの中の使用説明書の「ビデオカメラをパソコンに接続する」をご覧ください。

自動起動を設定する

- 詳しくは、DIGITAL VIDEO SOLUTION DISKの中の使用説明書の「CameraWindowを起動する」をご覧ください。
- ビデオカメラの画面にダイレクト転送メニューが出て、⎙〜ボタンが点灯。

静止画を取り込む（ダイレクト転送）ーつづき

- 他機で使用したディスクを、本機に入れて、パソコンにつなぐ場合の動作は保証していません。
- ビデオカメラのディスクおよびカード動作ランプが点滅しているときは、データを破壊することがありますので、次のことを必ず守ってください。
  - ・本機に振動を与えない。
  - ・カード/ディスクカバーを開けたり、カードやディスクを出したりしない。
  - ・USBケーブルを絶対に抜かない。
  - ・本機やパソコンの電源を切らない。
  - ・電源スイッチや動画/静止画切り換えスイッチを切り換えない。
- 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- カードやディスク内の静止画は、必ずパソコンにコピーし、コピーした静止画をパソコンで使用してください。
- 以下の操作を本機で行う場合は、パソコンにつないでも認識されません。
  - ・ディスクをプロテクトするとき
  - ・送信指定を全消去するとき
  - ・印刷指定を全消去するとき
  - ・カード/ディスクの静止画を全消去するとき
  - ・静止画をカード/ディスク間で全コピーするとき
  - ・ディスクを初期化するとき
  - ・ファイナライズを実行/解除するとき

- 本機をコンパクトパワーアダプターにつないで使うことをおすすめします。
- パソコンの説明書もあわせてご覧ください。
- Windows XPとMac OS Xをお使いの場合

  本機は、PTP（Picture Transfer Protocol）に対応していますので、ビデオカメラとパソコンをUSBケーブルでつなぐだけで、付属のDigital Video Softwareをインストールしなくても、静止画（JPEGのみ）をパソコンに取り込めます。

画像を転送する

全画像…	カードに記録したすべての画像
未転送画像…	まだ転送していない画像
送信指定画像…	送信設定したカードの画像（ 136）
画像を選んで転送…	画像を選んで転送
パソコンの背景…	パソコンのデスクトップの背景にする画像

転送方法を選ぶ

2

押す

- 全画像、未転送画像、送信指定画像：転送された画像がパソコンの画面に出る。
  転送を中止するときは、十字ボタン（キャンセル）を押すか、メニューボタンを押す。

■画像を選んで転送、パソコンの背景の場合

① SET を押す
②画像を選ぶ

■画像を選んで転送、パソコンの背景の場合

押す

- 画像を選んで転送：転送された画像がパソコンの画面に出る。次に転送する画像を十字ボタンで選べる。
- パソコンの背景：転送された画像がパソコンの背景になる。
- 転送中は ボタンが点滅。
- メニューボタンを押すと、前の画面に戻る。

- ボタンの代わりに十字ボタンを押しても、画像を転送できます。「全画像」「未転送画像」「送信指定画像」を選んで SET を押したときは、確認画面が出ます。十字ボタンで「OK」を選び、SET を押します。
- ビデオカメラとパソコンをつないだときに、画像を選ぶ画面が出た場合は、メニューボタンを押してください。ダイレクト転送メニューになります。
- ディスクの静止画は正しく転送されても、本機では転送済み画像として認識されず「未転送画像」は消えません。

送信指定する

カードに記録した静止画の中から、パソコンに転送する静止画を指定できます（最大998枚）。ディスクの静止画は送信指定できません。本機はDPOF（Digital Print Order Format）の機能の1つである送信指定に対応しています。
本機にUSBケーブルを接続せずに、操作をしてください。

設定のしかた

再生・📷

1 押す

2 （送信指定）➤「入」を選び、SET を押す

3 押す

- 設定を解除するときは操作 2 で「切」を選ぶ。

インデックス画面での設定のしかた

1

W側に押す

2

静止画を選ぶ

- 「☞」を再生したい静止画に合わせる。
- インデックス画面＋／－ボタンで画面を切り換える。

3

押す

4

「静止画実行」➤「➡送信指定」を選び、(SET)を押す

5

(SET)を押す

- もう一度押すと、設定は解除される。
- ▲/▼/◀/▶側に押すと、他の静止画を選べる。

6

押す

- 通常のインデックス画面に戻る。

すべての送信指定を消去する

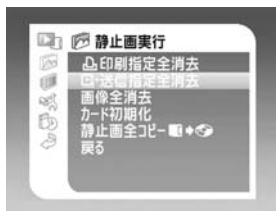
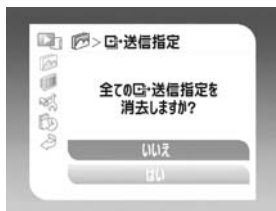
再生・📷

1 押す

2 「静止画実行」➤「□送信指定全消去」を選び、SET を押す

静止画実行
印刷指定全消去
□送信指定全消去
画像全消去
カード初期化
静止画全コピー
戻る

3 「はい」を選び、SET を押す

> □送信指定
全ての□送信指定を消去しますか?
いいえ
はい

 メニュー 押す

静止画を印刷する

本機に直接、接続できるプリンターは、別売のPictBridge対応プリンターです。パソコンを使用することなくカードやディスクに記録した静止画を簡単な操作で、きれいに印刷できます。また、カードの静止画の場合、印刷指定による連続印刷ができます（📖 146）。

キヤノン製プリンター：PictBridge対応SELPHY CPシリーズ/PIXUSシリーズ/SELPHY DSシリーズ

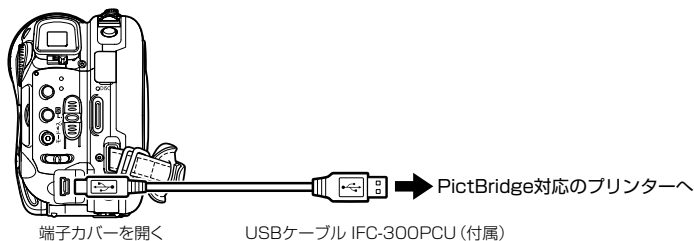
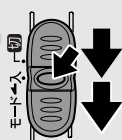
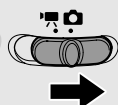
PictBridge対応のプリンターとつなぐ PictBridge

1

本機

①「入」にする
②下に押して再生モードにする

2

本機

「📷」にする

3

本機

静止画を記録したカードまたはディスクを入れる

印刷・印刷する

つづく ▶

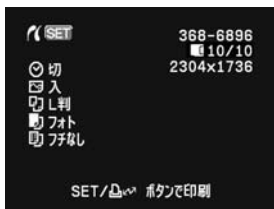
プリンター

電源を入れる

付属のUSBケーブルで本機とプリンターをつなぐ

- 本機の画面に が点滅した後、 が出る。

  本機で再生できない静止画のときには、表示は出ない。
- （イージーダイレクト）ボタンが点灯し、現在の印刷設定が約6秒間画面に出る。

SET
368-6896
10/10
2304x1736
切
入
L判
フォト
フチなし
SET/ ボタンで印刷

- 本機とプリンターをつないだときに、 が点滅し続ける（約1分以上）場合、または が出ない場合、ビデオカメラとプリンターの接続が正しくありません。このような場合は、ビデオカメラとプリンターから接続ケーブルを抜き、電源を入れ直してから接続ケーブルをつないでください。
- 以下の操作を本機で行う場合は、プリンターにつないでも認識されません。
  - ・シーンを全消去するとき
  - ・ディスクをプロテクトするとき
  - ・ディスクタイトルを入力するとき
  - ・送信指定を全消去するとき
  - ・印刷指定を全消去するとき
  - ・カード/ディスクの静止画を全消去するとき
  - ・静止画をカード/ディスク間で全コピーするとき
  - ・ディスクを初期化するとき
  - ・ファイナライズを実行/解除するとき
- 他機で使用したディスクを、本機に入れてプリンターにつなぐ場合の動作は保証していません。

- 印刷できない静止画のときは、「 」が出ます。
- 本機をコンパクトパワーアダプターにつないで使うことをおすすめします。
- プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

(イージーダイレクト)ボタンを使って印刷する

静止画を選んでそのまま1枚印刷するときは、ボタンを押すだけで印刷できます。

静止画再生中(1枚)

印刷する静止画を選ぶ

押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻る。
- 印刷中はボタンが点滅し、終了すると点灯。
- 続けてほかの静止画を印刷するときは、十字ボタンで静止画を選ぶ。

印刷設定を選んで印刷する

印刷枚数や用紙サイズなどの印刷設定を選んで印刷できます。印刷設定の内容は、接続するプリンターによって異なります。

(SET)を押す

- 印刷設定画面が出る。
- プリンターによっては、「処理中...」が出た後に、印刷設定画面が出る。

印刷設定を選ぶ(143)

「印刷」を選び、(SET)を押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻る。
- 続けてほかの静止画を印刷するときは、十字ボタンで静止画を選ぶ。

❍ 次のような場合、静止画がPictBridge対応のプリンターで正しく印刷されないことがあります。
・ パソコンで作成／加工した静止画をカードに書き込んだとき
・ 本機で記録したカードの静止画をパソコンで直接加工したとき
・ カードの静止画のファイル名を変更したとき
・ 上記のカードの静止画をディスクにコピーしたとき
・ 本機以外の製品で静止画を記録したカードおよびディスクを本機に入れたとき

❍ 印刷中に、次の操作はしないでください。
・ 動画/静止画切り換えスイッチを切り換える
・ 本機、プリンターの電源を切る
・ 本機とプリンターから接続ケーブルを抜く
・ カード／ディスクカバーを開けたり、カードやディスクをビデオカメラから取り出す

❍ 本機とプリンターをつないでいるときに、「処理中...」が長時間出る場合、接続ケーブルを一度抜き、つなぎ直してください。

❍ **印刷を中止するとき**
印刷中に十字ボタンで SET を押します。確認画面が出ますので、十字ボタンで「OK」を選び、SET を押します。
キヤノン製のPictBridge対応プリンターの場合は、印刷が中断され印刷中の用紙が排紙されます。

❍ **印刷中に異常が発生したとき**
「用紙がありません」、「用紙が詰まりました」、「インクがありません」などのお知らせ表示（📖 159）が本機の画面に出ます。
・ キヤノン製のPictBridge対応プリンターの場合：お知らせ表示の内容を解決します。印刷が自動で再開されないときは、十字ボタンで［続行］を選んで SET を押してください。［続行］を選択できないときは、［中止］を選んで SET を押し、印刷し直してください。プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

以上の操作をしても印刷が再開できないときは、次の操作をしてください。
① 接続ケーブルを抜く
② 本機の電源スイッチを一度「切」にしてから、再び再生モードにする
③ 接続ケーブルをつなぐ

❍ **印刷が終了したら**
① 接続ケーブルをビデオカメラとプリンターから抜く
② 本機の電源を切る

印刷設定を選ぶ

用紙設定	用紙サイズ	プリンターによって異なります。
	用紙タイプ	フォト、高級フォト、標準設定
	レイアウト	フチなし、フチあり、2／4／8／9／16面配置、標準設定
（日付印刷）		入、切、標準設定
（画像補正-イメージオプティマイズ）		入、切、VIVID、NR、VIVID+NR、標準設定
（印刷枚数）		1～99枚

1 印刷設定画面

設定する項目を選び、SET を押す

2 設定内容を選び、SET を押す

- ❍ 設定内容は接続するプリンターによって異なります。「標準設定」は、お使いのプリンターであらかじめ設定されている内容です。詳細については、プリンターの説明書をご覧ください。
- ❍「フチあり」：撮影した静止画とほぼ同じ領域で印刷。
  「フチなし」：撮影した静止画より若干拡大され、静止画の上下、左右を多少カットして印刷されることがある。
- ❍ VIVID、NR、VIVID＋NRは、キヤノン製プリンターPIXUS／SELPHY DSシリーズをお使いの場合に設定できます。
- ❍ 画像補正は、画像補正機能（イメージオプティマイズ）付きプリンターを使うときに設定できます。
- ❍「レイアウト」で「＊＊面配置」を選ぶとき
  2/4/9/16面配置 ：「用紙サイズ」で「はがき」または「L判」を選ぶ。キヤノン製プリンターPIXUS／SELPHY DSシリーズの場合は、専用のシール紙に印刷できる。
  8面配置：「用紙サイズ」で「カード」を選ぶ。キヤノン製プリンターSELPHY CPシリーズの場合は、専用のシール紙に印刷できる。

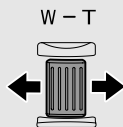
印刷領域を選ぶ（トリミング）

スタイルや用紙設定などの印刷設定を行った後に、トリミングを設定します。

1

印刷設定画面

「トリミング」を選び、(SET)を押す

2

W/T側に押す

- 枠内が印刷される。
- W側：枠は大きくなる。
  T側：枠は小さくなる。
- 十字ボタンで (SET) を押すと、枠の向き（縦・横）を切り換えられる。

■ トリミングを解除するとき

枠を最大にして、さらにズームレバーをW側に押す。メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻る。

3

▲/▼/◀/▶側に押す

- 枠が移動。
- メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻る。

❍ 枠の色について
枠は、2色あります。トリミングするときの目安にしてください。
白：トリミングの設定が行われていません。（初期設定）
緑：推奨する印刷領域です。画像サイズや用紙サイズ、フチの設定によっては出ないことがあります。

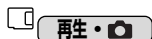
❍ トリミングは、1枚の静止画のみに設定できます。

❍ トリミングの設定は、次の操作をすると解除されることがあります。
・本機の電源を切る
・接続ケーブルを抜く
・トリミングの枠を、最大より大きくする
・用紙サイズを変える

印刷指定して印刷する

カードに記録した静止画の中から、印刷したい静止画とその枚数を指定できます。ディスクの静止画は印刷指定できません。本機は印刷規格のDPOF（ディーポフ Digital Print Order Format）に対応しています。PictBridge対応のプリンターで自動印刷できます。印刷指定は、最大998枚の静止画まで設定できます。

設定のしかた

本機にUSBケーブルをつながずに、操作をしてください。

1 押す

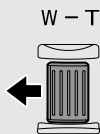
2 印刷指定マークを選び、SET を押す

3 枚数（1枚以上）を選び、SET を押す

4 押す

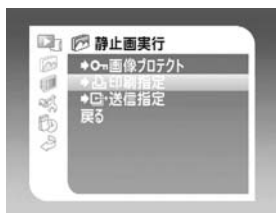
■印刷指定を消去するとき

枚数を「0」にする。

インデックス画面での設定のしかた

1 W側に押す

2 印刷する静止画を選ぶ

3 押す

4 「静止画実行」➤「➡ 印刷指定」を選び、SET を押す

5 SET を押す

6 枚数を選び、SET を押す

- 印刷指定されて次の静止画を選べる。

■**印刷指定を消去するとき**

枚数を「0」にする。

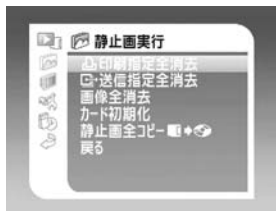
押す

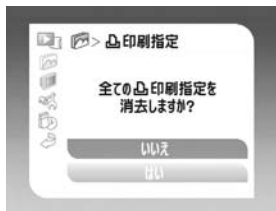
- 通常のインデックス画面に戻る。

すべての印刷指定を消去する

1枚の静止画を再生しているときに操作します。

押す

「静止画実行」➤「印刷指定全消去」を選び、SETを押す

「はい」を選び、SETを押す

- すべての印刷指定が消去される。

押す

印刷する

再生・📷

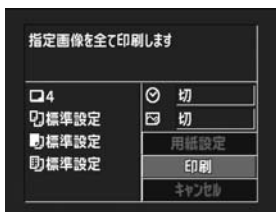
本機とプリンターをつなぐ（📖 139）

押す

「➡ 🖶 印刷」を選び、(SET) を押す

- 🖶 印刷設定画面が出る。
- 🖶 印刷指定をしていないときは、「🖶 印刷指定が必要です」が出る。
- 🖶 印刷指定による全印刷枚数が出る。

「印刷」を選び、(SET) を押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻る。

- ❍ 接続するプリンターによっては、操作4の前に、スタイルや用紙設定などの印刷設定ができます（📖 143）。
- ❍ **印刷を中止するとき／印刷中に異常が発生したとき**（📖 142）
- ❍ **印刷を再開するとき**
  - ・メニューボタンを押し、「➡ 🖶 印刷」を選びます。印刷設定画面から「再開」を選び、(SET) を押すと、残りの静止画が印刷できます。
  - ・次の場合は印刷は再開できません。
    再開する前に 🖶 印刷指定を変更した場合
    再開する前に 🖶 印刷指定をした静止画を消去した場合

故障かな？

故障かな？と思っても、修理に出す前にもう一度確認してください。
特にほかの機器につないでいるときは、ケーブルの接続も確認してください。点検しても直らないときは、キヤノンサービスセンターまたはご購入になった販売店にご相談ください。

	こんなときは	どうするの？	📖
電源	電源が入らない 途中で電源が切れる ディスクカバーが開かない 画面がついたり消えたりを繰り返す	• バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 • バッテリーを正しく装着し直す。	23
電源	バッテリーが充電できない	• 0℃～40℃の温度で充電する。 • バッテリーを使用直後、バッテリーの温度が高くなり、充電温度範囲外になっている。バッテリーをしばらく放置して、温度が40℃以下になってから充電を開始する。 • バッテリーが故障している。別のバッテリーを使う。	23
撮影・再生	操作ボタンを押しても動かない	• 電源を入れる。 • ディスクを入れる。	32
撮影・再生	画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない	電源を取りはずし、しばらくしてから取り付けて操作する。それでも解決しない場合は、電源を取りはずし、先のとがったものでRESET（リセット）ボタンを押す。すべての設定が解除される。	–
撮影・再生	画面で「⌀」が点滅する	ディスクを入れる。	32
撮影・再生	画面で「▭」が点滅する	バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	23
撮影・再生	リモコンが動作しない	• メニューで「リモコンセンサー」を「入」にする。 • リモコンの電池が消耗しているので、新しい電池と交換する。	95 27

	こんなときは	どうするの？	📖
撮影・再生	画面にノイズが出る	プラズマテレビの近くで本機を使っているときは、テレビから離す。	–
撮影・再生	テレビの放送画面にノイズが出る	テレビの近くで使用しているときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプターを離す。	–
撮影・再生	ディスクが入っていない状態でディスクカバーを閉めると、モーター音が聞こえる	ディスクが入っているか確認しているためで、故障ではない。	–
撮影・再生	ディスクが取り出せない	• 電源を切ってから、コンパクトパワーアダプターやバッテリーを取り付け直す。 • 本機が高温になっているので、コンパクトパワーアダプターとバッテリーをはずし、本機を冷ましてから操作する。	23
撮影・再生	ディスク認識が終了しない	• ディスクにゴミや汚れがあるので、市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭きとる。改善されない場合は、新しいディスクに交換する。 • ディスクを正しく装着し直す。	165 32
撮影・再生	本機が振動する	ディスクの状態によっては本機が振動することがある。故障ではない。	–
撮影・再生	本機から小さな音が聞こえる 一定の間隔で本機から動作音がする	ディスクを定期的に動作させている音で、故障ではない。	–
撮影・再生	長時間使うと熱くなる 「 」が赤く点灯する	故障ではない。電源を切ってから、涼しい場所でしばらく放置する。	–
ディスク撮影	「 」が赤く点滅する	本機が故障している。サービスセンターにご相談ください。	–
ディスク撮影	画面に映像が映らない	電源スイッチでカメラモードにし、動画/静止画切り換えスイッチを「 」にする。	35
ディスク撮影	「エリア／日時を設定してください」が出る	• 世界時計のエリアと日時を設定する。 • 内蔵のリチウム電池を充電し、日付／時刻を設定し直す。	29 166

	こんなときは	どうするの？	📖
ディスク撮影	スタート/ストップボタンを押しても録画しない	• 電源スイッチでカメラモードにし、動画/静止画切り換えスイッチを「」にする。	35
		• ディスクを入れる。	32
		• ディスクに空き容量がない（画面で「END」が点灯）。新しいディスクを入れるか、DVD-RW（VRモード）の場合は不要な画像を消去する。	100
		• 本機が高温になっている。コンパクトパワーアダプターとバッテリーをはずし、本機を冷ましてから操作する。	23
		• ディスクプロテクトを解除する。	104
		• DVD-RW（VIDEOモード）のときは、ファイナライズを解除する。	120
	撮影を中断してもディスク動作ランプが点灯している	撮影したシーンをディスクに書き込んでいる。	35
	スタート/ストップボタンを押した時点と、記録されたシーンの始めと終わりの時点が異なる	スタート/ストップボタンを押してから、実際に録画が始まったり終わったりするまでに時間差が多少かかることがある。故障ではない。	–
	撮影を始めても、すぐ止まってしまう	• ディスクにゴミや汚れがある。市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭きとる。改善されない場合は、新しいディスクに交換する。	165
		• 本機が高温になっている。コンパクトパワーアダプターとバッテリーをはずし、本機を冷ましてから操作する。	23
	ピントが合わない	• ピントの自動調整が苦手な被写体です。手動でピントを合わせる。	58
		• ファインダーの視度調整レバーで、画像がはっきり見えるように調整する。	26
		• レンズが汚れている。最初にブロアでレンズ表面のゴミ、ホコリを拭き除き、レンズを傷つけないように乾いた柔らかい布で軽く拭いて汚れを取り除く。ティッシュペーパーを使わない。	167

	こんなときは	どうするの？	📖
ディスク撮影	音が歪んだり、実際より小さく記録される	大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、音が歪んだり、実際より小さく記録されることがある。故障ではない。	–
	キラキラ光っていたり、極端に明るい被写体を撮影すると、縦に帯が出る	CCDのスミア現象で、故障ではない。	–
	ファインダーの画像がはっきりしない	視度調整レバーで調整する。	26
ディスク再生	再生ボタンを押しても再生しない	• シーンが記録されているか確認する。 • ディスクを入れる。 • 電源スイッチで再生モードにし、動画/静止画切り換えスイッチを「🎥」にする。 • 他機で記録、編集したディスクは本機で再生できない場合がある。 • 片面ディスクのときは、ディスクのラベル面を外側にして入れる。 • 本機が高温になっている。コンパクトパワーアダプターとバッテリーをはずし、本機を冷ましてから操作する。	– 32 41 – 32 23
	映像にノイズが出たり、音が途切れたりして、正しく再生されない またディスクを正しく認識しない	• ディスクにゴミや汚れ、傷がある。市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭きとる。 • 他機で記録や編集されたディスクは、本機で再生できない場合がある。	165 –
	プレイリストに追加できない	• ディスクに空き容量がない（画面で「💿 END」が点灯）。不要な画像を消去する。 • プレイリストに999シーンある場合は追加できない。	100 108 –
	分割できない	他機で撮影やプロテクトなどをしたディスクは編集や消去ができない。	–

	こんなときは	どうするの？	📖
ディスク再生	ディスクタイトルを入力できない	• DVD-Rではファイナライズ後にディスクタイトルを入力できない。	–
		• DVD-RW（VIDEOモード）のときは、ファイナライズを解除する。	120
		• 他機でディスクタイトルが作成されている場合は、本機では入力できない場合がある。	–
		• ディスクプロテクトを解除する。	104
	フォトムービーを作成できない	• 静止画が記録されていない。	37
		• ディスクに空き容量がない（画面で「 END」が点灯）。DVD-RW（VRモード）の場合は不要な画像を消去する。	100 108
	編集やシーンを消去できない	• ディスクプロテクトを解除する。	104
		• 他機でプロテクトされたディスクは編集や消去ができない。	–
		• DVD-R/RW（VIDEOモード）の場合は編集や消去ができない。	–
	映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない	• 液晶画面を開く。	28
		• スピーカーの音量が「切」になっている。メニューで「システム設定」➤「音量」を選び、十字ボタンで調整する。	46
	リモコンのボタンが使用できない	本体の十字ボタンが押されている。本体が傾いている場合は起こす。	–
他機	シーンとシーンの間で一瞬止まる	再生する機器によっては、各シーンの間で一瞬止まることがある。	–
	ディスクは回っているが、テレビに映像が出ない	• テレビのテレビ/ビデオ切り換えスイッチをビデオにする。	122
		• 対応していないディスクを再生またはダビング録画しようとしている。操作を中止する。	–
	他機でディスクが認識されない 再生できない、画像が乱れる	• 市販の眼鏡クリーナー（布製）などでディスクの汚れを拭き取る。	165
		• ディスクをファイナライズする。	117
		• VRモードで記録した場合、再生できない機器がある。他機の説明書で互換を確認する。	–

	こんなときは		どうするの？	📖
他機	他機でディスクに追加記録や編集ができない	➡	本機で記録したディスクには、他機での追加記録や編集ができない場合がある。	–
	パソコンから本機のディスクへの書き込み中にエラーが出る	➡	本機が高温になっている。パソコンから本機をはずし、ディスクを取り出す。コンパクトパワーアダプターとバッテリーをはずし本機を冷ましてから、新しいディスクに書き込み直す。	23
カード	カードが入らない	➡	カードの向きを確認して、正しい向きでカードを入れる。	31
	カードに記録できない	➡	• カードの容量がいっぱいです。不要な静止画を消去する。 • カードが初期化されていない。カードを初期化する。 • 画像番号が最大になっていて、ファイル名が作成できない。メニューで「画像番号」を「オートリセット」にし、新しいカードを入れる。	108 116 95
	カードが再生できない	➡	• カードを入れる。 • 電源スイッチで再生モードにし、動画/静止画切り換えスイッチを「📷」にする。 • 「静止画メディア選択」を「▭」にする。	31 43 38
	静止画を消去できない	➡	画像のプロテクト設定を解除する。	114
	「▭」が赤く点滅する	➡	カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも点滅が続くときは、カードを初期化する。	116
印刷	本機とプリンターが正しく接続されているのに、プリンターが動作しない	➡	本機の電源スイッチで再生モードにし、動画/静止画切り換えスイッチを「📷」にして、接続ケーブルを抜き差しし、プリンターの電源を入れ直す。	–

メッセージが出たら？

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。

お知らせ表示（約４秒間表示が出ます）

メッセージ	どんな意味？	📖
エリア／日時を設定してください	世界時計のエリアまたは日時を設定していない。世界時計のエリアと日時を設定する。	29
バッテリーパックを取り替えてください	バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	23
高温のため記録できません 高温のためディスクは取り出せません	本機が高温になっている。コンパクトパワーアダプターとバッテリーをはずし、本機を冷ましてから操作する。	23
記録できません ディスクを確認してください	• ディスクに異常があるため、記録できない。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。 • ディスクの記録画面に傷や汚れがある場合がある。	– 166 –
シーン数がいっぱいです	記録可能な画像数を超えた。新しいディスクに交換するか、DVD-RW（VRモード）の場合は不要な画像を消去する。	100
再生できません	• DVD-R/RW以外のディスクや、汚れがついているディスクは再生できない。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。	– 166
編集できません	• ディスクに画像が記録されていない。またはディスクに画像が記録されていても、データが破損していて編集できない場合がある。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。	– 166
分割できません	• フォトムービーは分割できない。 • 短いシーンは分割できないことがある。 • ディスクに999シーンあるときは分割できない。 • 分割してできた5秒未満のシーンは分割できない場合がある。	–

お知らせ表示（約4秒間表示が出ます）

メッセージ	どんな意味？	📖
ファイナライズ済みのディスクです記録できません	• ファイナライズ済みのDVD-Rには記録できない。 • 他機でファイナライズしたDVD-RW (VIDEOモード)は、本機で追加の記録やファイナライズ解除ができない。	120
ファイナライズを解除してください	ファイナライズ済みのDVD-RW（VIDEOモード）には追加記録したり、カードの静止画をフォトムービーとして記録できない。ファイナライズを解除する。	120
ディスクがプロテクトされています	プロテクトされているディスクには記録や編集できない。プロテクトを解除する。	104
ディスクエラーです	DVD-RWを使用するときは、はじめに初期化する。	105
ディスクが認識できません ディスクを確認してください	• ディスクを認識できない。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。 • 本機が高温になっている場合がある。コンパクトパワーアダプターとバッテリーをはずし、本機を冷ましてから使用する。 • ディスクを取り出してから、入れ直す。	– 166 23 32
ディスクへのアクセスに失敗しました ディスクを確認してください	• ディスクの書き込み中または読み込み中にエラーが発生した。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。 • ディスクを取り出してから、入れ直す。	– 166 32
ディスクカバーがあいています	ディスクカバーを閉じる。	32
ディスクがありません	• ディスクを入れる。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。 • テレビ方式が異なるディスクです。本機に対応したディスクを使う。	32 166 –
ディスク認識中です	ディスクを読み込んでいる。	–

お知らせ表示（約4秒間表示が出ます）

メッセージ		どんな意味？	📖
振動を与えないでください	➡	記録しているときは振動を与えない。	–
データを修復できませんでした	➡	• 壊れたデータを修復できない。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。	– 166
ディスクがいっぱいです	➡	ディスクに空き容量がない（画面で「💿END」が点灯）。新しいディスクを入れるか、DVD-RWの（VRモード）場合は不要な画像を消去する。	100 108
カードがありません	➡	カードが本機に入っていない。	31
画像がありません	➡	カードやディスクに再生する画像がない。	–
カードエラーです	➡	カードにエラーがあり、記録、再生できない。一時的にカードエラーが起きる場合がある。「カードエラーです」が4秒後に消えて🄲が赤色で点滅するときは、電源を切り、カードを出し入れする。🄲が緑色点灯すれば、そのまま記録、再生できる。	–
カードがいっぱいです	➡	カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、画像を消去する。	31 108
ファイル名が作成できません	➡	フォルダー番号や画像番号が最大になった。「オートリセット」して、ディスクまたはカードの初期化、画像全消去、またはディスクの交換を行ってください。	95
この画像は再生できません	➡	再生できない画像タイプ、互換性のないJPEG画像、またはデータが破壊されている画像を再生した。	–
☑ 送信指定エラー	➡	☑ 送信指定の設定可能な画像の枚数（998枚）を超えた。	136
静止画像が多すぎます USBケーブルをぬいてください	➡	USBケーブルを抜いて、カードまたはディスクの静止画が1800枚以下になるまでパソコンに画像を移動するか、不要な静止画を消去してから、USBケーブルを接続し直す。DVD-R/RW（VIDEOモード）の静止画は消去できない。 パソコンの場合、OSの設定によっては、パソコンのモニターに画面が出ることがある。画面を閉じてからUSBケーブルを接続し直す。	108

本機をPictBridge対応プリンターにつないだときに出るお知らせ表示の対処方法については、プリンターの説明書をあわせてご覧ください。

キヤノン製プリンターPIXUS/SELPHY DSシリーズについて

❍ 次の場合は、必ずプリンターの説明書でご確認ください。
  ・プリンターのエラーランプが点滅しているとき。
  ・操作パネルや接続したテレビにエラーメッセージが出ているとき。

❍ 本書やプリンターの説明書を参考に対処をしてもエラーメッセージが出るときは、修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。

	メッセージ	どんな意味？
プリンター接続時	用紙エラー	用紙に異常がある。 印刷できないサイズの用紙がプリンターに取り付けられているか、または指定された用紙で印刷できないインクが取り付けられている。 また排紙トレイが閉じているときは、開ける。
	用紙がありません	プリンターに用紙が正しく入っていない、または用紙がない。
	用紙が詰まりました	印刷中に用紙が詰まった。 ［中止］を選び印刷を中止する。用紙を取り除き、用紙をセットし直してから再度印刷する。
	インクエラー	インクに異常がある。
	インクがありません	インクが正しくセットされていない、またはインクがない。
	インクが残りわずかです	インクの交換時期が近づいている。［続行］を選ぶと、印刷を再開する。
	廃インクタンクが満杯です	［続行］を選ぶと印刷を再開するが、お早めに修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）に、インク吸収体の交換を依頼してください。
	ファイルエラー 印刷できない画像です	本機以外、または異なる画像タイプで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を印刷した。

プリンター接続時

メッセージ		どんな意味？
印刷できない画像が＊枚ありました	➡	本機以外、または異なる画像タイプで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を＊枚DPOF設定で印刷した。
印刷指定が必要です	➡	カード内に印刷指定をしている静止画がない。
印刷指定エラー	➡	印刷指定の設定可能な静止画の枚数（998枚）を超えた（146）。
トリミングできない画像です	➡	本機以外で撮影した静止画では、トリミングできないことがある。
トリミングの再設定が必要です	➡	トリミングの設定後に「スタイル」の設定を変更した。
プリンタートラブル発生	➡	[中止]を選んで印刷を中止し、接続ケーブルを抜いて、プリンターの電源を切る。しばらくしてから、電源を入れ直し、接続ケーブルをつなぐ。プリンターの状態を確認する。 それでもエラーメッセージが出るときは、修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。
印刷エラー	➡	「中止」を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す。ボタンを使って印刷しているときは、印刷設定を確認する。プリンターの状態を確認する。
ハードウェアエラー	➡	[中止]を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す。 プリンターの状態を確認する。
通信エラー	➡	通信中にエラーが発生した。「中止」を選んで印刷を中止し、接続ケーブルを抜いて、プリンターの電源を切る。しばらくしてから、電源を入れ直し、接続ケーブルをつなぐ。ボタンを使って印刷しているときは、印刷設定を確認する。または、大量の画像が記録されたカードを使って印刷しようとした。画像の枚数を減らす。
設定を確認してください	➡	ボタンを使って印刷するときに、プリンターで対応していない設定になっている。
サイズを選びなおしてください	➡	ビデオカメラとプリンターで用紙サイズの設定が異なっている。
プリンターは使用中です	➡	使用中です。プリンターの状態を確認する。

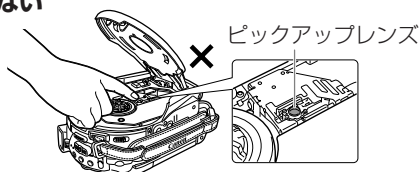
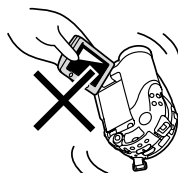
	メッセージ		どんな意味？
プリンター接続時	紙間レバー位置が不正です	➡	紙間レバー位置を正しい位置に直す。
	プリンターカバーが開いてます	➡	プリンターのカバーを閉じる。
	プリントヘッド未装着	➡	プリントヘッドが取り付けられていないか、プリントヘッドの不良。

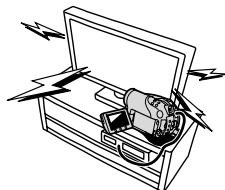
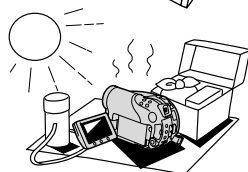
取り扱い上のご注意

ビデオカメラについて

● **ディスク動作ランプが点灯している間は、振動や衝撃を与えない。**

正常に記録されず、ディスクのデータが破損することがあります。

● **本機のピックアップレンズに触れない**

● **液晶画面やディスクカバーをつかんで、本機を持ち上げない**
液晶画面は、正しい位置に戻してから閉じる

● **テレビの上、プラズマテレビや携帯電話の近くなど、電磁波の出る場所では使わない**

映像や音声が乱れることがあります。

● **太陽や強いライトにレンズやファインダーを向けない**

● **ホコリや砂、水、泥、塩分の多い場所で使用・保管しない**

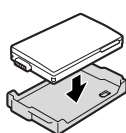
本機は防水・防塵構造になっていません。ホコリなどが本機やディスクカバー内部に入ると、故障の原因となります。ディスクカバーは使用後に必ず閉じてください。

バッテリーについて

● 端子はいつもきれいにしておく

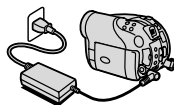
バッテリー、充電器、本機の端子に物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

● 持ち運びや保存の際は、付属のショート防止用端子カバーを取り付ける（図A）

金属で端子をショートさせると（図B）、バッテリーの破損の原因となります。

（図A）

（図B）

● 充電は使用直前にする

充電しておいたバッテリーも少しずつ放電します。

● 常温での使用時間が極端に短いときは

寿命と考えられます。新しいバッテリーをお求めください。

● 使用時間を長くするコツ

・ こまめに電源を切り、10℃～30℃のところで使用すると、長く使えます。
・ スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなります。ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

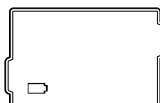
● 長い間保管するとき

・ バッテリーが消耗するのを防ぐため、取りはずし、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
・ バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取りかえてください」が出るまで使い切ってから、保管してください。
・ １年に一回程、充電完了まで充電してから使い切ってください。

● 端子カバーの便利な使いかた

端子カバーの「 ▭ 」の位置を付けかえることで、充電済みバッテリーを区別できます。

バッテリーの裏　　端子カバー取り付け後

充電前　　充電後

○ この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。

○ リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

○ 交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。

○ リサイクルに関するお問い合わせ先

・ 製品、リチウム電池をご購入いただいた販売店

・ 有限責任中間法人　JBRC
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

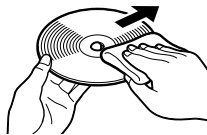
・ キヤノン／キヤノン販売
http://cweb.canon.jp/ecology/recycle5.html

Li-ion

ディスクについて

ディスクは大変精密な構造になっています。ディスクの取り扱いには、以下の項目を守って充分に注意してください。

● **ディスクにホコリや汚れがつかないようにする**

わずかな汚れでも、正常に記録や再生できないことがあります。記録を行う前には必ず十分な確認を行ってください。汚れた場合は、市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭きとってください。ベンジンなどは、ディスクを痛めることがあるので、使わないでください。

● **ぬらしたり、曲げたり、傷つけたり、強い衝撃を与えない**

● **表面にラベルなどの粘着性のあるものを貼らない**

回転が不安定になり、故障の原因となります。

● **保護のため、ケースに入れて保管する**

● **文字などは印刷面に、ボールペンなどの先の硬いものは避け油性フェルトペンで記入する**

● **極端な温度差にさらさない**

温度差のある場所へ急に移動すると、表面に結露することがあります。結露したときは、そのまま使用せず、水滴が自然に消えるまで常温で放置してください。

● **直射日光の当たる場所や、高温、多湿の場所に置かない**

● **必ずファイナライズしてからDVDプレーヤーなどの機器に入れる**

記録データが破損する恐れがあります。

カードについて

● **静止画などのデータは、パソコンでバックアップを取っておく**

カードの故障、静電気などにより記録したデータが破損したり、消えることがあります。その場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

● **強い磁気の発生する場所で使わない**

● **高温、多湿の場所に放置しない**

● **分解したり、ぬらしたり、曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えない**

● **端子部分に触れない**

● **他のシールを貼ったりしない**

内蔵の充電式リチウム電池について

本機は充電式内蔵リチウム電池によって、日付などの設定を保持します。内蔵リチウム電池は、本機を使っている間充電されるため、3ヶ月くらい使わないと完全に放電します。

■充電するとき（所要時間：24時間）

① 本機をコンパクトパワーアダプターにつなぐ

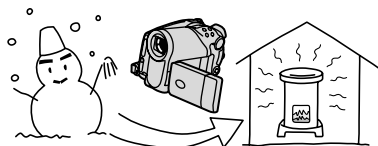
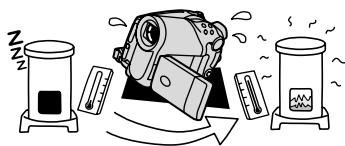
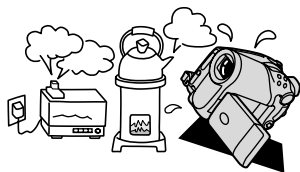
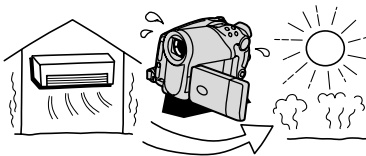
② 電源スイッチを「切」にする

コイン型リチウム電池CR2025

捨てるときは、燃えないゴミとして適宜処理する（地域によって異なります）

結露について

夏季、よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。結露した状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。

・ 寒い所から急に暖かい所に移動したとき

・ 寒い部屋を急に暖房したとき

・ 湿度の高い部屋の中

・ 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

■どんな対処をする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

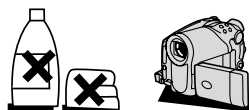
■結露を防ぐには

・極端な温度差にさらさない。

・温度差のある場所へ急に移動するときは、事前にディスクやカードを取り出し、本機をビニール袋で密閉します。本機が移動先の温度になじんでから袋から取り出します。

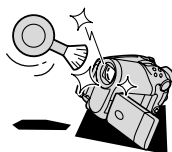
日常のお手入れ

● 本機が汚れたとき

乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどは、製品を傷めることがあるので使わないでください。

● ピックアップレンズが汚れたとき

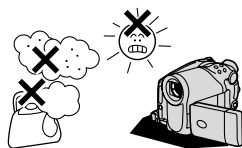
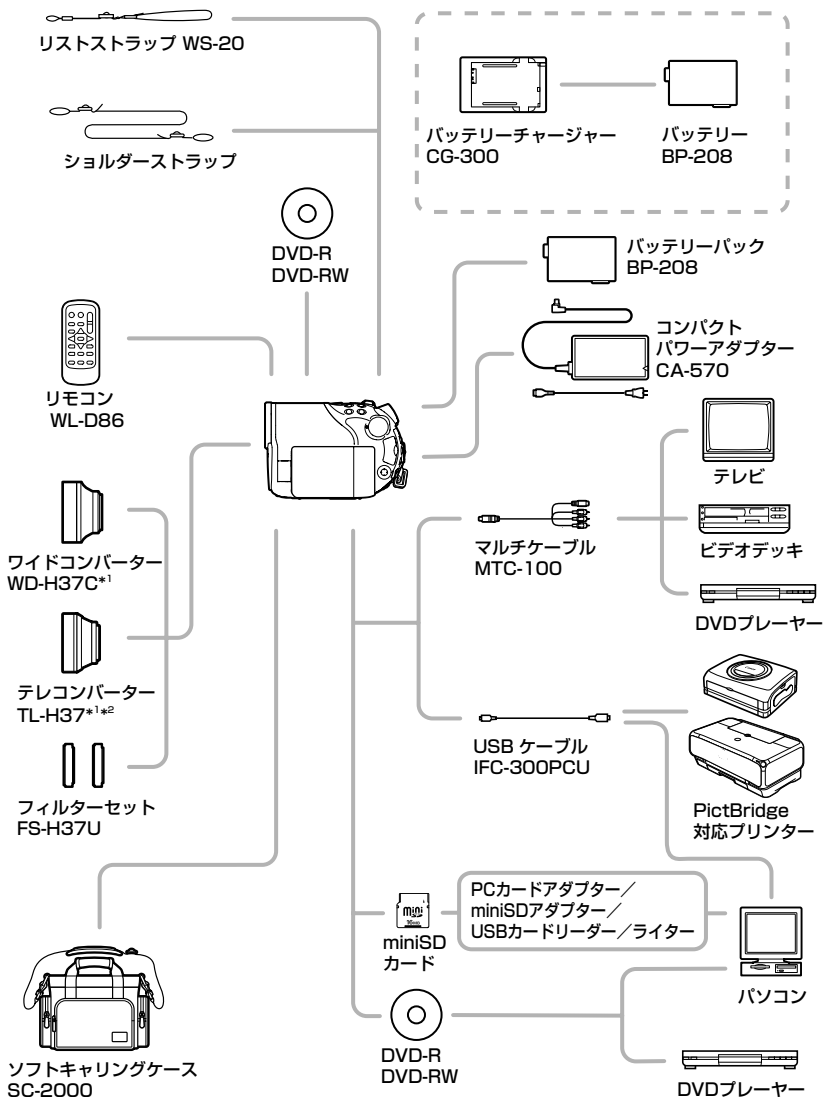
スプレー缶タイプではなくエアータイプのブロアーで、汚れを吹き飛ばしてください。故障の原因となりますので、直接触れてのクリーニングは絶対にしないでください。

● レンズやファインダーが汚れたとき

・ ブロアーでゴミやホコリを取り除き、市販の眼鏡クリーナー（布製）などで軽く拭いてください。ティッシュペーパーを使わないでください。
・ レンズの表面が汚れていると、自動ピント合わせが動作しないことがあります。

● 液晶画面が汚れたとき

・ 市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
・ 温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

● 長期間使わないとき

ホコリが少なく、湿度の低い、30℃以下の場所に保管してください。

キヤノンビデオシステム

*[1] 本機にワイドコンバーター、テレコンバーターを取り付けたとき、ミニビデオライトやフラッシュを使用時に影が出ることがあります。

*[2] テレコンバーターを装着時は、ビデオカメラが被写体に近づける距離が変わります。ズームのWの端：約2.3cm、Tの端：約2.3m

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

海外で使うとき

本製品は、海外でもお使いになれます。

テレビでの再生

録画したディスクを現地のテレビでご覧になる場合、日本国内で採用しているNTSC方式（カラー受信方式の1つ）で、映像/音声入力端子のついたテレビが必要になります。

NTSC方式は以下の国／地域などで採用されています。

- ●アメリカ合衆国
- ●エクアドル
- ●エルサルバドル
- ●カナダ
- ●韓国
- ●ギニアビサウ
- ●キューバ
- ●グアテマラ
- ●グアム
- ●コスタリカ
- ●コロンビア
- ●ジャマイカ
- ●台湾
- ●チリ
- ●ドミニカ
- ●トリニダードトバゴ
- ●トンガ
- ●ニカラグア
- ●ハイチ
- ●パナマ
- ●フィリピン
- ●プエルトリコ
- ●ベネズエラ
- ●ペルー
- ●ボリビア
- ●ミャンマー
- ●メキシコ

（NHK放送文化研究所発行　「世界の放送2005」による）

電源について

コンパクトパワーアダプターCA-570は、AC100～240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります（1つの国／地域の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。
コンパクトパワーアダプターCA-570を海外旅行者用の電子式変圧器などに接続すると、故障のおそれがありますので、使用しないでください。

変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	O
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

主な国名と使用するプラグの種類（参考資料）

●北米

国名	プラグ
アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ

国名	プラグ
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア

国名	プラグ
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. O
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. O
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア

国名	プラグ
オーストラリア	O
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	O
ニュージーランド	O
フィジー	O

●中南米

国名	プラグ
アルゼンチン	BF. C. O
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A

●中近東

国名	プラグ
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ

国名	プラグ
アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

世界時計の都市と代表国

本機の世界時計機能では、主要都市を含む世界24ヶ所の標準時間を表示できます。29ページの操作❺で、エリア（都市名）を選んでください。エリアの右に ☀ が付くと、サマータイムになります。

エリアと日本との時差

エリア	時差	エリア	時差	エリア	時差
ロンドン	−9	ホンコン	−1	ロサンゼルス	−17
パリ	−8	トウキョウ	0	デンバー	−16
カイロ	−7	シドニー	+1	シカゴ	−15
モスクワ	−6	ソロモン	+2	ニューヨーク	−14
ドバイ	−5	ウェリントン	+3	カラカス	−13
カラチ	−4	サモア	−20	リオ	−12
ダッカ	−3	ホノルル	−19	フェルナンド	−11
バンコク	−2	アンカレジ	−18	アゾレス	−10

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

製品の保証について

1 本製品が万一故障したときは、本製品と保証書をご持参のうえ、キヤノンサービスセンターまたはご購入になった販売店にご相談ください。尚、当社修理サービスご相談窓口、または、お買上げ店にご持参いただく際の諸費用は、お客様にて御負担願います。また、お買い上げ店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、一部御負担いただく場合があります。

2 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容のご案内をご覧ください。
保証期間はご購入日より1年間です。

3 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。

4 本製品などの不具合により録画されなかった場合の付随的損害（録画、録音に要した諸費用および得べき利益の損失など）については、保証致しかねます。

修理を依頼されるときは

5 修理品をご持参いただくときは、不具合の見本となるディスク、カードを添付するなどしたうえ、不具合の内容／修理箇所を明確にご指示ください。

補修用性能部品について

6 ビデオカメラ補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造の打ち切り後8年です。従って期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましてはキヤノンサービスセンター、またはご購入になった販売店にお問い合わせください。

修理料金について

7 修理料金は故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。

修理見積につきましては、窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

主な仕様

DC40

システム

ディスク録画	映像：　DVD-VIDEO（VIDEOモード）：8cmDVD-R/RW DVD-VR（VRモード）：8cmDVD-RW 映像圧縮方法：MPEG2 音声圧縮方法：Dolby Digital 2ch 静止画：Exif Ver 2.2準拠、圧縮方法JPEG
信号方式	NTSC方式準拠
使用可能ディスク	DVD R/RW のついた8cmDVD-Rまたは8cmDVD-RW
録画/再生時間	XP：約20分、SP：約30分、LP：約60分 （1.4G片面ディスク）
撮像素子	1/2.8型CCD、総画素数429万画素 有効画素　4：3撮影時：約350万画素 ワイドTV撮影時：手ぶれ補正「入」　約274万画素 手ぶれ補正「切」　約299万画素 静止画：約400万画素
液晶画面	2.7型TFTワイドカラー液晶（約12.3万画素）
ファインダー	0.3型　TFTカラー液晶（約12.3万画素）
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=6.1－61mm　F=1.8－3.0　電動10倍ズーム 35mmフィルム換算時の焦点距離 ディスク：4：3撮影時：44.5-445mm ワイドTV撮影時（手ぶれ補正「入」）：47.4 - 474mm ワイドTV撮影時（手ぶれ補正「切」）：45.4 - 454mm カード：41.6 - 416mm
レンズ構成	9群11枚
フィルター径	37mm
焦点調整	TTL自動焦点、マニュアル調整可
最短撮影距離	ワイド端1cm、ズーム全域1m
色温度切り換え	フルオート（セット、太陽光、日陰、くもり、電球、蛍光灯、蛍光灯H 付）
最低被写体照度	0.6ルクス(ナイトモード、シャッタースピード1/2秒時) 9ルクス（オートモード（オートスローシャッターオン）、シャッタースピード1/30秒時）
推奨被写体照度	100ルクス以上
手ぶれ補正機能	電子式
記録カード	miniSDカード*
カード記録サイズ	静止画：2304×1736、1632×1224、 1280×960、640×480
カード記録規格	DCF準拠、Exif 2.2準拠、DPOF対応
画像圧縮方法	静止画：JPEG（スーパーファイン、ファイン、ノーマル）

主な仕様ーつづき

* 本機では、256MBまでのminiSDカードの動作を確認しています。すべてのカードの動作を保証するものではありません。

DC40は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
DC40は、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Printは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいな印刷出力が得られます。

入・出力端子（レベル／インピーダンス）

映像/音声出力端子	10ピンマルチコネクター（出力のみ） 映像　映像信号：1Vp-p/75Ω S-映像　輝度信号：1Vp-p/75Ω 色信号：0.286Vp-p/75Ω 音声　出力時：-10dBv（47kΩ負荷時/3ｋΩ以下）
USB端子	mini-B

電源その他

電源電圧	DC7.4V（バッテリーパック）、DC8.4V（DCIN）
消費電力	ファインダー使用時：約4.9W、（録画中、AF合焦時、SPモード時） 液晶画面使用時：約4.9W、（録画中、AF合焦時、明るさ標準、SPモード時）
動作温度	0℃～＋40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	60×87×126mm（最大突起部を含まず）
撮影時総質量	約530g （バッテリーパックBP-208、DVD-R、miniSDカード含む）
本体質量	約480g

コンパクトパワーアダプター　CA-570

電源	AC 100V-240V、50/60Hz
出力／消費電力	公称DC8.4V、1.5A/29VA（100V)～39VA（240V）
使用温度	0℃～＋40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約52×29×90mm
本体質量	約135g

バッテリーパック　BP-208

使用電池	リチウムイオン
使用温度	0℃～＋40℃
公称電圧	DC7.4V
容量	850mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約39×8×63mm
質量	約40g

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

製品の使いかたがわからないとき

DC40 DVDビデオカメラ

キヤノン販売 お客様相談センター

050-555-90003（全国共通）

平日 9:00～20:00／土日祝日* 10:00～17:00

*1月1日～1月3日を除く

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9394をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。

Roxio MyDVD for Canon

ソニック･ソリューションズ サポートセンター

03-5232-5065

平日のみ 10:00～12:00、13:00～17:00

サポートページ
http://www.sonicjapan.co.jp/support/

デジタルビデオカメラホームページ

最新の情報が掲載されておりますので、ぜひお立ち寄りください。

デジタルビデオカメラ製品情報
http://canon.jp/dv

キヤノン サポートページ
http://canon.jp/support

CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net/

■保証書は製品の箱に添付されています

保証書は必ず「購入店･購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

■本書の記載内容は2006年2月1日現在です

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。不要となった電池はリサイクル協力店の充電式回収BOXに入れてください。

Canon キヤノン株式会社／キヤノン販売株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

PUB. DIJ-233 PRINTED IN JAPAN 0000A/Ni0.0

本書は100%再生紙を使用しています。